PGXG-61B / PGWX-61B / PGWU-61B

ユーザーマニュアル

Visibly yours

文書レビジョン：00

Barco nv投射部門
Noordlaan 5, B-8520 Kuurne
電話：+32 56.36.89.70
ファックス： +32 56.36.88.24
サポート：www.barco.com/esupport
ホームページ：www.barco.com

変更

バルコ社は、このマニュアルを、明示的であれ黙示的であれ、黙示的保証、商業的価値、特定目的への適合性などを含め、いかなる種類の保証もない「現状のまま」で提供するものとします。バルコ社は、本出版物に記載された製品およびプログラムをいつでも予告なしに改良または変更することができます。

本出版物には、技術的誤りや誤植が含まれることがあります。本出版物の情報は定期的に変更されます。これらの変更は本出版物の新しい版に組み込まれます。

バルコ社のマニュアルの最新版はバルコWebサイト: www.barco.comまたは保護されたバルコWebサイト: https://my.barco.comからダウンロードできます。

著作権©

版権所有。本出版物のいかなる部分もコピー、複写または翻訳することはできません。また、バルコ社の書面による事前の同意なしに記録、送信または検索システムへの格納を行うことはできません。

EN55022/CISPR22 Class A ITE (情報処理機器)

Class A ITEは他のすべてのITEのカテゴリーで、Class B ITE制限ではなくClass A ITE制限を満たしています。かかる機器はその販売に制限はありませんが、次の警告が使用説明書に含まれます。

警告：これは、Class A製品です。国内環境において、本製品は電波障害を引き起こすことがあり、かかる場合、ユーザーは適切な措置を講じる必要があります。

米連邦通信委員会(FCC声明)

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class A のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。

これらの制限事項は、装置を商業的環境で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。本装置を住宅地域で使用すると、電波障害を引き起こすことがあり、その場合、使用者が自己の費用負担によって障害を解消する必要があります。

保証と賠償

バルコ社は法的に規定された保証条件の一部として、完全な製造に関する保証を提供します。購入者は、受領時に納品されたすべての商品を検査し、輸送中に被った損傷、および材料と仕上がりの欠陥がないかを確認し、クレームがある場合は直ちに書面でバルコ社に通知する必要があります。

保証の期間はリスクの移転の日に始まります。また、試運転の日の特殊なシステムとソフトウェアの場合、リスクの移転の遅くとも30日後に始まります。クレームの正当な通知があった場合、バルコ社は適切な期間内に独自の判断で欠陥を修理または代替品を提供いたします。この措置を取ることができない場合または失敗した場合、購入者は購入価格の値引きまたは契約のキャンセルを要求することができます。他のすべての請求、特に直接的または間接的損傷、およびソフトウェアの操作に起因する損傷、およびシステムのコンポーネントであれ独立したサービスであれ、バルコ社が提供する他のサービスに起因する損傷の賠償に関する請求は、その損傷が書面により保証された特性がなかったことに起因するか、またはバルコ社の側の意図的なまたは重大な過失によるものであることを証明できない場合は無効と見なされます。

購入者またはサードパーティがバルコ社の納品した製品を変更または修理した場合、または製品が間違って取り扱われた場合、特にシステムが間違って作動された場合、または、リスクの移転の後、製品が契約で同意されていない影響にさらされた場合、購入者のすべての保証請求は無効となります。この保証の範囲に、購入者の側で用意したプログラムまたは特別な電気回路、例えばインターフェースに起因するシステム障害は含まれません。通常の摩耗および通常のメンテナンスも、バルコ社が提供する保証の対象外です。

お客様は、本書で指定された環境条件と修理およびメンテナンス規制に従う必要必要があります。

商標

本書に記載されたブランド及び製品名hあそれぞれの所有者の商標、登録商標または著作権です。

本書に記載されたすべてのブランドと製品名はコメントまたは例として出したものであり、製品またはその製造元の広告として理解されるべきではありません。

目次

1. 安全にお使いいただくために...... 6
1.1 一般注意事項 6
1.2 重要な注意事項...... 7
2. はじめに...... 12
2.1 設置要件 12
2.2 プロジェクターパッケージの概要 13
2.3 製品の各部名称...... 14
2.3.1 本体 14
2.3.2 入/出力(I/O)パネル...... 15
2.3.3 リモコン 16
3. 本体の設置 17
3.1 RCU電池の取り付け...... 17
3.2 レンズを取り付ける...... 18
3.3 プロジェクタの接続...... 19
3.3.1 背面カバーを取り外す 19
3.3.2 コンピュータまたはノートパソコンとの接続 20
3.3.3 ビデオソースとの接続 21
3.4 プロジェクターの電源オン/オフ...... 22
3.4.1 プロジェクターの電源を入れる 22
3.4.2 プロジェクターの電源を切る...... 22
3.5 投写された映像の調整 23
3.6 天井への取り付け...... 25
4. ユーザーコントロール...... 26
4.1 オンスクリーン・ディスプレイメニュー 26
4.1.1 OSD Liteメニューを使用する 26
4.1.2 詳細設定OSDメニューの使用 28
4.1.2.1 インプットメニュー 29
4.1.2.2 画像メニュー 30
4.1.2.3 レイアウトメニュー 32
4.1.2.4 ランプメニュー 33
4.1.2.5 整列メニュー 34
4.1.2.6 コントロールメニュー 36
4.1.2.7 サービスメニュー 37
5. 故障かなと思ったら...... 39
5.1 画像問題 39
5.2 LEDインジケータ表...... 40
5.3 警告メッセージ...... 41
6. メンテナンスとサービス 42
6.1 ランプの交換...... 42
6.2 空気フィルターを交換する...... 43
6.3 レンズの交換...... 44
7. 仕様...... 45
7.1 PGXG-61B...... 45
7.2 PGWX-61B 47
7.3 PGWU-61B...... 49
7.4 寸法...... 51
7.5 互換モード 52
8. 環境情報...... 54
8.1 廃棄情報 54
8.2 RoHS準拠...... 54

1. 安全にお使いいただくために

本章について

本章をよく注意してお読みください。本章には、PRESENTシリーズのプロジェクターを設置および使用している間の負傷を避けるための重要な情報が含まれています。さらに、PRESENTシリーズのプロジェクターの損傷を防ぐためのいくつかの注意も含まれています。本章に記載されたすべての安全ガイドライン、安全に関する指示、警告を理解し従っていることを確認してから、PRESENTシリーズのプロジェクターの設置と使用を開始してください。本章の後、追加「警告」と「注意」は手順によって示されます。また、これらの「警告」と「注意」をお読みになり従ってください。

本書で使用される用語「PRESENTシリーズ」の説明

本書で用語「PRESENTシリーズ」を参照するとき、内容は次のバルコ社製品に対して適用されることを意味します。

- PGXG-61B
- PGWX-61B
- PGWU-61B

概要

- 一般注意事項
- 大切な安全に関する指示

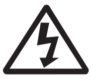
1.1 一般注意事項

注意： 操作中、および電源をオフにした直後は非常に熱くなっているため、ランプに触れないでください。ランプには水銀が含まれています。破損すると水銀や割れたガラスがランプハウジングから外へ出る可能性があります。水銀中毒の危険への暴露を避けるには。ランプを扱っている間、落とさない、打ち付けない、押し付けない、傷を付けないようにしてください。

注意： スタンバイモードに入った直後にプロジェクタの電源を入れないで下さい。

一般の安全に関する指示

- 本機の操作を開始する前にこの取扱説明書の内容をよくお読みになり、いつでも参照できるように保管しておいてください。
- 設置や事前調整は、バルコ社が認定した有資格者またはバルコ社が承認したサービス代理店にご依頼ください。
- プロジェクターの本体上、および説明書内に記載されるすべての警告を必ずお守りください。
- 本機の操作および取扱いに関するすべての指示を必ずお守りください。
- 地域のすべての設置条例に従う必要があります。

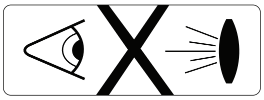


正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」があることを警告するものです。

正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに重要な操作およびメンテナンス(アフターサービス)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

正三角形内部の高温面の記号は、ランプモジュールに「高温面」があることを警告するものであるため、ランプを交換するときは、装置を冷却させてください。

プロジェクターのランプには水銀が含まれており、地方自治体、州、または国の法律に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。



ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。

安全に注意

この機器は、安全規格 IEC60950-1、EN60950-1、UL60950-1、およびCAN/CSA C22.2 No.60950-1に基づいて製造されています。これらの安全規格は、電子事務機器を含む情報処理機器に関する規格です。これらの規格は、ユーザーや作業者が感電やエネルギーハザード、可動部への接触によって危険な目に遭わないよう保護するために、安全上重要な部品や材料の取付を義務付けるものです。安全規格はさらに、装置内部・外部の温度上昇、放射能レベル、機械的安全性と強度、梱体の構造、火災防止対策等についても制限値を設定しています。機器が機能不全に陥ったときでも安全性を確保するため、単一故障シミュレーション試験が実施されています。

ユーザー定義

本マニュアルを通して、サービススタッフという用語は適切な技術トレーニングを習得し、各種作業の実行に伴うあらゆる潜在的危険性(高電圧電流および電子回路および高輝度プロジェクターなどを含む)について熟知するに足る経験を有し、作業者およびその他の人々に及ぶ潜在的危険性を最小限に留める手段について知識を有する人を指します。ユーザーとオペレータという用語は、サービススタッフ以外の人で、専門的投射システムを操作する権限のある人を指します。

PRESENTシリーズのプロジェクターはランプや関連する回路で生成される高電圧、強い光線、紫外線照射、高温に関する潜在的危険性に習熟した、権限のあるスタッフにより「専門的用途専用」で使用されることを意図しています。かかる危険性に熟知するに足る資格を持った修理サービススタッフのみが、製品筐体内部のサービスを実行することができます。

所有者情報

部品番号とシリアル番号は、それぞれの部品に貼り付けられたラベルに印刷されています。これらの番号を以下の空欄に書き留めておいてください。製品について販売店にお問い合わせいただくときは、これらの情報をお使いください。

製品番号	
シリアル番号	
販売店	

1.2 重要な注意事項

感電を防止するために

- 本製品は単相電源コンセントから操作する必要があります。
- この機器は、付属の3芯構造のACケーブルを使って接地する必要があります。付属の電源ケーブルに正しいものが含まれていない場合は、販売店にお尋ねください。電源プラグをコンセントに差込むことができない場合は、新しいコンセントの形に取り替えてもらえるように電気技師にご連絡ください。接地式プラグを、接地なしで利用するのはお止めください。
- 電源コードの上に物を置かないようにご注意ください。人が歩くときに電源コードに足が引っかかることのないように、本体の設置場所を配慮してください。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグを手に持って引き抜いてください。コードそのものを引っ張らないようにしてください。
- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。その他の電源コードは見た目が似ている場合でも、一緒に使用するための安全性試験を当社にて実施したものではないため、この機器と一緒にお使いいただくのはご遠慮ください。電源コードを交換したいときは、販売店にお尋ねください。
- 損傷したコードでプロジェクターを操作しないでください。コードを交換します。プロジェクターが落下したり損傷したりした場合、専門の修理技術者により検査され操作が承認されるまでプロジェクターを操作しないでください。
- コードで、つまずいたり、引っ張られたり、高温面に触れたりしないように配置してください。
- 延長コードが必要な場合、使用するプロジェクターの電流定格以上の定格のあるコードを使用する必要があります。プロジェクターの定格より低いアンペアの定格のコードは、過熱することがあります。
- キャビネットの穴から本体内部に異物を入れないでください。危険な電圧部分に触れたり、部品のショートを引き起こす可能性があり、火災や感電のおそれがあります。
- 本製品を雨や湿気にさらさないでください。

- 本製品を水やその他の液体に浸したり、さらしたりしないでください。
- 本製品にいかなる種類の液体もこぼさないでください。
- キャビネット内部に液体等が入ったときは、電源コードを抜いて、公認のサービススタッフの点検を受けて安全性を確かめてからお使い下さい。
- 本製品を分解しないでください。アフターサービスや修理が必要な場合は、専門の訓練を受けたサービススタッフに依頼してください。
- メーカーが推奨しないアクセサリーや付属品は使用しないでください。
- 雷発生時 - 雷雨等の際は追加的な保護措置として、また保管時や長期間使用しない場合の保護対策として電源コードはコンセントから抜いておいてください。雷の発生や電力のサージによる本体の故障を防止することができます。

怪我等の危険性を防止するために

- ランプやランプハウスを交換する前に、電気的に絶縁してください。注意：高温のランプ(ハウス)。
- 注意：高圧ランプは、適切に取り扱わないと割れるおそれがあります。アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。
- 怪我や物理的な損害を避けるため、ランプケースの取り付けや電源コードの接続、また、プロジェクターの調節時は必ずこの取扱説明書や本体に記載された警告ラベルをよく読んでから実施してください。
- 怪我を防止するため、プロジェクター本体の重量について十分に配慮してください。
- 怪我を防止するため、レンズやその他のすべてのカバーが適切に取り付けられていることを確認してください。設置手順を参照してください。
- 警告：高出力光線。レンズを覗き込まないでください。高輝度により失明するおそれがあります。
- 警告：非常に輝度の高いランプ：本プロジェクターは非常に輝度の高いランプを使用しています。レンズまたはランプを直接のぞき込むことは絶対におやめください。投射距離が6メートル未満の場合、投射される画像から4メートル以上離れて見る必要があります。反射面(ガラス、金属など)に投射された画像の近距離反射を避けてください。プロジェクターを操作しているとき、適切な保護メガネを着用することを強くお勧めします。
- 本機のあらゆるカバーを取り外す前に、本体の電源を切って電源コードをコンセントから外してください。
- 本機内部のパーツを確認するために電源を切るときは、常にコンセントから電源コード接続を切断してください。
- プロジェクター本体の側面の電源入力部分は遮断装置となっています。本機内部のパーツを確認するために電源を切るときは、常に本機側面の電源コード接続を切断します。本機側面の電源コード接続口が手に届かない位置にある場合(天井据付の場合など)は、本機の電源となるコンセント部分がいつでも手に届く範囲にあるように配慮するか、またはアクセスしやすい電源遮断装置を固定配線上に取り付けるようにしてください。
- 本体を不安定な荷台、スタンド、テーブルなどに置かないでください。落下により本体が破損したり、近くの人が怪我をするおそれがあります。
- レンズまたはシールドなしに操作するのは、危険です。レンズ、シールドまたは紫外線スクリーンは、その効果を損われているのが見て取れるほど損傷した場合、交換する必要があります。例えば、ひびや深い引っかき傷などによる場合。
- 警告：紫外線放射による被曝を防止するために：光線を直接見ないようにしてください。この機器に取り付けられたランプは、ハイレベルの光と熱を放射します。ランプから放出される光には、紫外線が含まれています。ランプが紫外線を放出しているときは、目や皮膚を傷める潜在的な危険性が存在します。不必要に被曝しないように、十分にご注意ください。使用者自身とその従業員がこれらの危険について理解し、どのようにして自分自身を守ればよいかを周知徹底させてください。皮膚への被曝は、編み目の細かい衣類や手袋の着用によって防止することができます。目への被曝は、紫外線保護機能を備えた安全眼鏡の着用によって防止することができます。紫外線だけでなく、ランプからは非常に強い可視光が放出されています。目の保護具を選択するときはこの点についても配慮してください。
- 紫外線への被曝について：一部の医薬品によっては、紫外線に対する人間の抵抗力を弱める働きをするものがあります。米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)では、1日8時間の労働に対する職業的な紫外線被曝限界を1平方センチの有効紫外線に対して0.1ミクロワット以下と定めています。累積的な紫外線レベルがこのような政府のガイドラインを超えることを防止するため、作業場の紫外線評価を実施されることをお勧めします。この紫外線放射への暴露は、メンテナンスとサービススタッフの場合1日1時間を限度とします。
- 水銀蒸気に対する警告：プロジェクターをお使いになるときは、以下の警告について留意してください。本機内部で使用されているランプには水銀が含まれます。ランプが破裂した場合、水銀の蒸気が放出されます。水銀の蒸気による中毒を最低限に抑止するため、以下の点にご注意ください。- 本機は必ず、通気性のよい場所に設置します。- ランプの使用寿命が終わる前にランプを交換します。- ランプが破裂したときは適切な換気を確保し、本機を置いた部屋から脱出します(特に妊娠している女性)。- ランプが破裂した後に、頭痛、倦怠感、息苦しい、胸が締めつけられるような咳が出る、吐き気がするなど身体の不調がみられるときは、医師に相談します。

火災の危険を防止するために

- 本機の近くに燃えやすいもの、発火しやすいものを置かないでください。
- バルコ社製大画面投射製品は、もっとも厳しい安全規制を満たすように設計・製造されています。通常の運転時に本

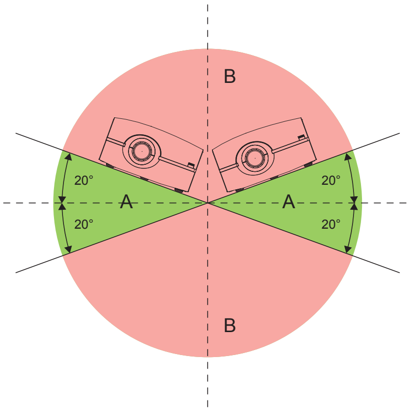
機の表面や排気口が熱くなりますが、これは正常で安全な状態です。しかし、本体の近くに発火性、可燃性のあるものを置くとこれらに引火して火災を引き起こすおそれがあります。このため、本機のまわりには、発火性、可燃性のものが全く無い「安全な区域」を用意します。バルコＤＬＰプロジェクターについては、安全な区域を少なくとも本体から50 cm (20")以上で設定します。レンズ側の安全区域は少なくとも5メートルを確保してください。本機の運転中は、本体、レンズ等を別の素材で覆ったりしないでください。引火物および可燃物は常にプロジェクターの近くに絶対に置かないでください。本機の据付は、通気性が良く、直射日光の当たらない場所にします。本機は、雨に濡れたり湿度の高い場所で使用しないでください。火災が発生した場合、砂、二酸化炭素または粉末消火剤を使用してください。電子部品の火災には水を使用してはいけません。本製品の修理は、必ず正規のバルコサービススタッフに依頼してください。常に、バルコ社製の純正部品のみを使用してください。バルコ社以外の交換部品は、本製品の安全を損なうことがあるため絶対に使用しないでください。

- 機器にある開口部は換気用です。本体の正常な動作と過熱を防止するため、これらの開口部を塞いだりしないでください。また、壁、またはこれに似たような場所に本体を配置すると開口部が塞がれてしまいますのでお止めください。暖房器具やヒートレジスタなどの近くやその上に本体を置かないでください。本機は、適切な換気を確保できる場合を除き、作りつけの棚や収納部に設置しないでください。
- 本機を使用する室内は、本体の発生する熱による温度上昇を避けるため、適切な換気を行うかクーラーなどを利用して温度を調節します。
- 保管する前に、本体を完全に冷ましてください。保管するときは、本体からコードを外してください。
- 排気された熱気が通過する地点またはランプハウスの上に、熱に弱い物質を置かないようにご注意ください。

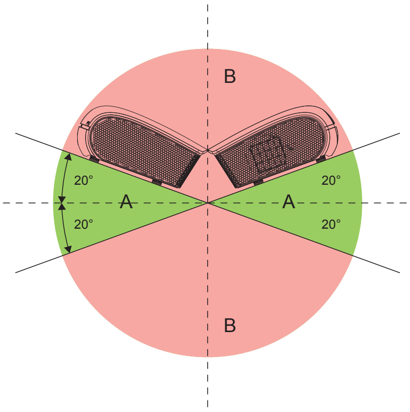
プロジェクターの故障を防止するために

- 本製品は、特定のランプ(ハウス)タイプと一緒に使用するように設計されています。正しいタイプについては、設置に関する注意事項をご覧ください。
- プロジェクターの空気フィルターは、定期的に洗浄または交換する必要があります(ブースの「洗浄」は最低でも月に1回行います)。この注意事項を無視すると、プロジェクター内部の空気の流れが妨害され、過熱の原因となります。過熱は、プロジェクターの動作中にシャットダウンを引き起こします。
- 本機は常に、開口部に十分な空気が入り、冷却システムからの熱い空気が妨げられないような状態で取り付けられるように配慮してください。
- 正しい空気流を確保するため、またこの機器の電磁環境両立性を適切なレベルに維持するため、常にカバーがすべて適切に取り付けられた状態で使用します。
- キャビネットにある開口部は換気用です。本体の正常な動作と過熱を防止するため、これらの開口部を塞いだりしないでください。また、ベッドやソファ、絨毯、またはこれに似たような場所に本体を配置すると開口部が塞がれてしまいますのでお止めください。暖房器具やヒートレジスタなどの近くやその上に本体を置かないでください。本機は、適切な換気を確保できる場合を除き、作りつけの棚や収納部に設置しないでください。
- 本機内部には何も侵入したり落ちたりしないように配慮してください。万一、内部に液体や異物が侵入したときは、電源供給を直ちに切断してください。公認のサービススタッフによる点検を行うまで、本体を操作しないでください。
- 本機の冷却ファンや本体まわりの空気流を妨げないようにしてください。本体のまわり30 cm (12")以内に、綴じられていない書類等を置かないでください。
- この機器を、水気のあるところで使用しないでください。
- レーザー光線に対する特別な注意： 高出力レーザー装置を配置している部屋でDLPプロジェクターを使用する場合、特別な注意が必要です。レーザー光線が直接または間接的にレンズに当たると本体のデジタルミラーデバイス(Digital Mirror Devices™)に深刻なダメージが起きる可能性があるため、このような場合、この製品の保証は失われます。
- 本機を直射日光にさらされる場所に、絶対に設置しないでください。レンズに日光が当たるとデジタルミラーデバイス(Digital Mirror Devices™)が深刻な損傷を受ける可能性があり、この場合、保証は無効になります。
- 製品を梱包していた箱と梱包材料は捨てずに保管しておいてください。装置を発送する必要が生じた場合、便利です。製品は工場出荷時と同じ方法で再包装するのが最も丈夫です。
- お手入れの際は、コンセントから本体の接続を外してください。液体洗剤やスプレータイプの洗剤を使用しないでください。お手入れには固く絞った雑巾をお使いください。シンナーやベンジン、研磨剤の入った洗剤などは使用しないでください。キャビネットが傷つくおそれがあります。頑固な汚れは、中性洗剤を少し付けた雑巾でふき取ってください。
- 最高の光学性能と解像度を実現するため、保護レンズには抗反射コーティング処理が施されています。レンズには触れないようにしてください。レンズに付着したホコリを取り除くときは、柔らかい乾いた布をお使いください。濡れた雑巾、洗剤、シンナーなどは使わないでください。
- 最高の周辺許容温度、ta= 40 °C (104 °F)。
- ランプハウスは損傷したり熱で変形した場合、交換する必要があります。
- 水平および垂直のプロジェクター傾き範囲：プロジェクターはテーブルまたは天井取り付け位置で動作するように設計されており、傾斜は許容されていません。ただし、左右への傾きは+/- 20°を超えることはできません。この制限を守ることで、プロジェクターのランプは適切かつ安全に作動します。

- A：問題のない許容される傾き
- B：この領域での傾きは許容されません



正面図



側面図

サービスを行う場合

- 本機は自分で修理等しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧によって感電するおそれがあります。
- アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。
- 工場で設定された内部制御を改変したり、本書で特別に説明された以外の制御設定を変更したりすると、プロジェクターが回復不能な損傷を受け保証もキャンセルされます。
- 以下の状況のときは、本機の電源をコンセントから外し、公認のサービス技術者にサービスをご依頼ください。
  - 電源コードまたはプラグが破損またはすり減っている。
  - 本体内に液体が侵入した。
  - 本機が雨や水に濡れてしまった。
  - 適切に使用しているにも拘らず、本体が正しく動作しない。各種制御機能の使用は、取扱説明書に於いて取り上げられている範囲内に留めておいてください。不適切な調整は、本体の故障につながるおそれがあり、製品を元の正常な状態に戻すのに公認の技術者による複雑な作業が伴う場合があります。
  - 本機を落とした、またはキャビネットが壊れた。
  - 製品の動作が通常と著しく異なる場合は、サービスが必要であることを示しています。
- 部品の交換：部品を交換する場合、サービス技術者がバルコ社の提供する適切な部品またはバルコ社の純正部品と同等の性能を持つと認められた交換部品を使っていることを確認してください。不適切な部品交換は、性能や信頼性を劣化させ、火災、感電、その他の危険を伴う可能性があります。不適切な部品交換を行うと、当社の保証を受けられなくなる場合があります。
- 安全性チェック：本機のサービスや修理の完了時は、サービス技術者に安全性チェックの実施を依頼して、製品が適切に稼動することを確認してもらってください。
- 考えられる爆発の危険：以下の注意を常に忘れないでください：

注意：操作中、および電源をオフにした直後は非常に熱くなっているため、ランプに触れないでください。ランプには水銀が含まれています。破損すると水銀や割れたガラスがランプハウジングから外へ出る可能性があります。水銀中毒の危険への暴露を避けるには。ランプを扱っている間、落とさない、打ち付けない、押し付けない、傷を付けないようにしてください。

電池の破裂を防止するために

- 電池を正しく挿入しなかった場合、電池が破裂するおそれがあります。
- 電池は必ずメーカーが推奨するタイプのものまたはこれと同等のタイプのものと交換してください。(AAA LR03,1.5V)
- 使用済みの電池を廃棄する場合、常に連邦、州、地区、県の有害廃棄物処理規則と規制に従って、正しい廃棄を行ってください。

2. はじめに

本章について

PRESENTシリアルプロジェクターを設置する前に、本章をお読みください。本章にはPRESENTシリーズのプロジェクターの設置要件に関する重要な情報(許容される最低および最高周辺温度、湿度条件、設置されたプロジェクターの周りの必須安全領域、必須コンセントなど)が含まれています。

さらに、画像サイズ、周辺光のレベル、プロジェクターの配置、使用するスクリーンのタイプなどに注意を払うことは、プロジェクターシステムの最適な使用に欠かせません。

概要

- 設置要件
- プロジェクタパッケージの概要

注:バルコ社は法的に規定された保証条件の一部として、完全な製造に関する保証を提供します。本章に記載された仕様を守ることは、プロジェクターのパフォーマンスに重要です。これを無視すると、保証が無効となります。

2.1 設置要件

環境条件

以下の表は、PGXG-61B/PGWX-61B/PGWU-61Bプロジェクターを安全に操作したり保管したりできる物理的環境を要約しています。

環境	操作時	非操作時
周辺温度	5 °C (41 °F)～40 °C (104 °F)	-10 °C (14 °F)～60 °C (140 °F)
湿度	10%～85% RH (結露しないこと)	5%～90% RH (結露しないこと)
高度	0 (0フィート)～3000m (9843フィート)	

冷却要件

プロジェクターはファンで冷却されているため、プロジェクターヘッドの周りに十分なスペースを持って設置する必要があります。十分な空気の流れを確保するには30 cm (12 インチ)以上のスペースが必要です。プロジェクターの開口部で計った周辺温度が+40°C (+104°F)を超えない領域で使用する必要があります。

きれいな大気環境

プロジェクターは、常にきれいな空気がプロジェクターの換気口に自由に流れるように取り付ける必要があります。プロジェクターが煙製造機から生成される空中浮遊汚染物質(これらの汚染物質はプロジェクター内部の光学部品や画像処理電子面にベタベタする残余物の薄い層を堆積させ、パフォーマンスを低下させます)にさらされるため、この汚染物質がプロジェクターのきれいな空気源に達する前に除去することをお勧めします。汚染された空気を抽出したり、プロジェクターから十分離れた場所に遮蔽するデバイスや構造物があらかじめ必要となります。この方法が実現可能でない場合、プロジェクターをきれいな空気環境に移すことを考慮してください。

光学部品の洗浄向けに特別に設計されたメーカーの推薦する洗浄キットのみを使用して、工業用の強いクリーナーは光学部品の被膜を低下させ繊細なオプトエレクトロニクスコンポーネントを損傷させることがあるため、絶対に使用しないでください。しつこく、長期にわたる汚染物質の影響からプロジェクターを保護するために、適切な予防装置を取らない場合、光学部品が広範囲に回復できないほどひどく損傷する結果となります。この段階にくると、内部光学装置の洗浄は効果がなく実行不可能となります。この種類の損傷はいかなる場合もメーカーの保証では救済されず、保証は無効であるとみなされます。かかる場合、クライアントは修理にかかるすべての費用に全責任を負うものとします。プロジェクターの環境に好ましくない空中の粉塵の有害な影響が入り込まないようにプロジェクターを保護するのは、常にクライアントの責任です。プロジェクターが故意に放置されたり、放棄されたり、不適切な使用をされた場合、メーカーは修理を拒否する権利を留保します。

主電源要件

PRESENTシリーズのプロジェクターは、個別のアース用PEを使う公称単相コンセントから操作します。

プロジェクター	電源要件
PGXG-61B	AC入力100-240V、6.5A、50/60Hz
PGWX-61B	AC入力100-240V、6.5A、50/60Hz
PGWU-61B	AC入力100-240V、6.5A、50/60Hz

コンセントにプロジェクターを接続するのに必要な電源コードは、プロジェクターに付属しています。

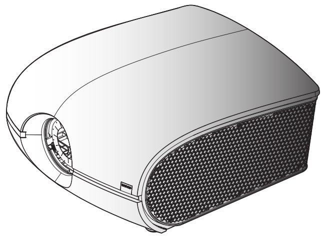
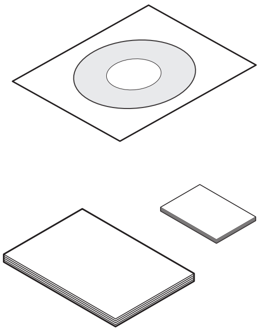
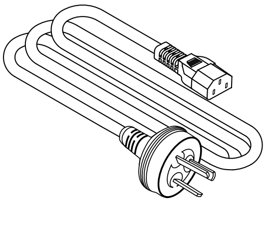
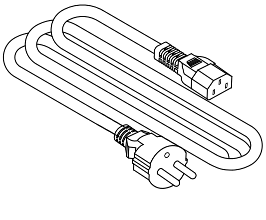
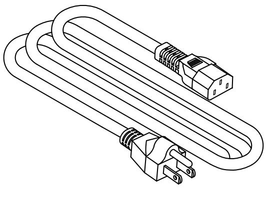
プロジェクターの重量

プロジェクターの重量を低く見積もらないでください。プロジェクターの重量は約17±0.5 kgです(レンズを含まず)。プロジェクターを設置する台座または天井取り付けが、システムの完全荷重の5倍の重さを支えることができるのを確認してください。

2.2 プロジェクターパッケージの概要

こん包に含まれるもの

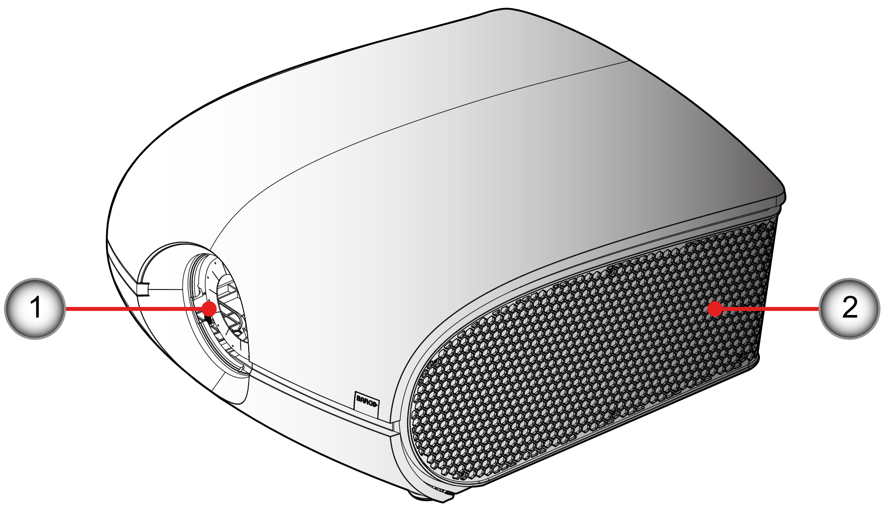
本パッケージには、プロジェクター本体および以下の付属品が含まれます。パッケージの内容がすべて揃っていることをご確認ください。万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡ください。

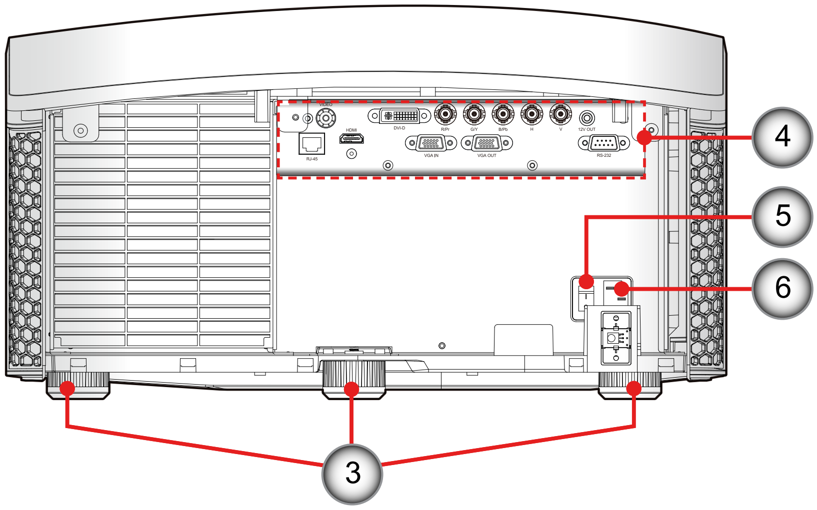
		
プロジェクター	リモコン(単4電池x2)	ユーザーガイド、クイックスタートガイド、安全マニュアル
		
電源コード(中国)	電源コード(欧州連合)	電源コード(米国)

2.3 製品の各部名称

2.3.1 本体

コンポーネントの場所



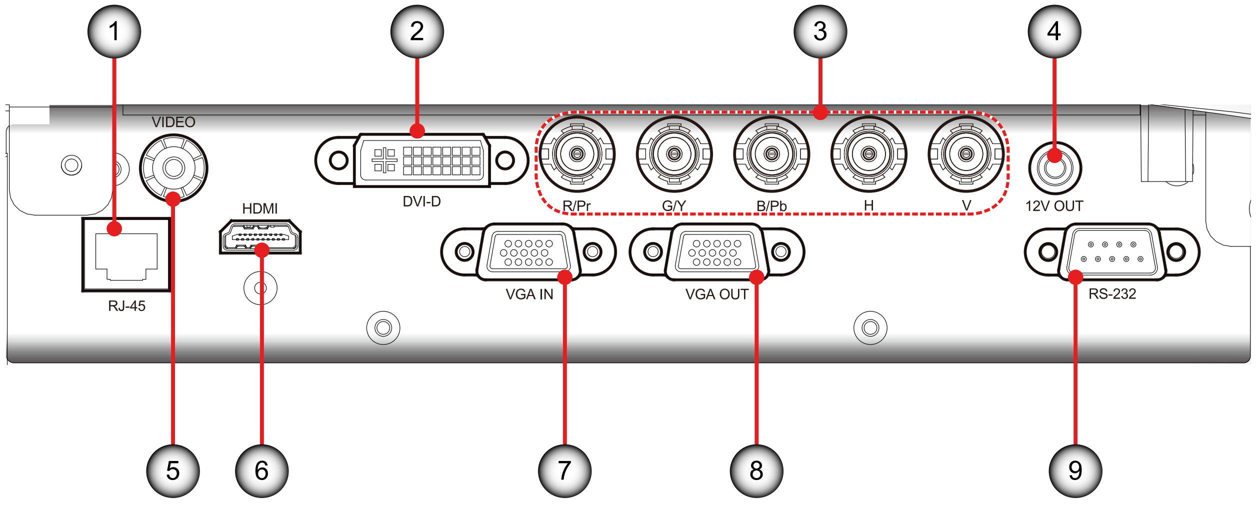


1. プロジェクションレンズ
2. ランプカバー
3. チルト調整フット
4. 入/出力(I/O)パネル
5. パワースイッチ
6. パワーソケット(AC 入力:AC100-240V～、50-60Hz)

注:投射レンズはオプションのアイテムで、パッケージの標準アクセサリーではありません。

2.3.2 入/出力(I/O)パネル

コンポーネントの場所

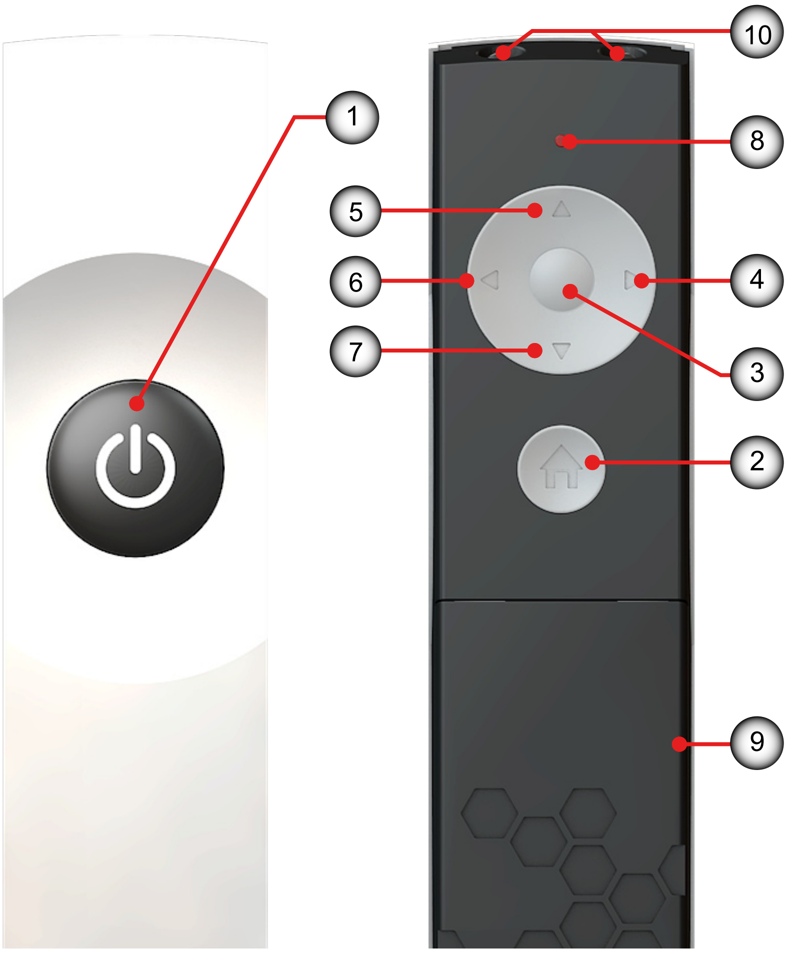


1. ネットワーク端子 RJ45
2. DVI-D入力端子、ビデオ入力端子
3. BNC入力コネクタ (YPbPr/RGBHV)
4. +12Vリレー端子
5. ビデオ入力端子
6. HDMIコネクタ
7. VGA端子（PCアナログ信号/コンポーネントビデオ入力）
8. モニタ端子（VGAからのループ）
9. RS232端子

2.3.3 リモコン

ボタンの場所

1. オン/オフ
2. ホーム
3. OK
4. 右矢印
5. 上矢印
6. 左矢印
7. 下矢印
8. LEDインジケータ
9. 電池収納部
10. IR LED



リモコンでは、以下の機能をコントロールできます。

基本リモートコマンド (結果)	リモートLite (アクション)	
プロジェクターを始動する	「オン/オフ」を押す	1
プロジェクタの電源を切る	「オン/オフ」を押す	1 > 1
スクリーンにメインメニューを表示	「ホーム」を押す	2
メニュー内を移動する	「矢印キー」を押す	5 6 4 7
ボタンを選択する	「OK」を押す	3
選択して、前のメニューに戻る	「OK」を押す	3
選択せずに、前のメニューに戻る	「ホーム」を押す	2
スクリーンのOSD Liteを消去する	「ホーム」を押す	2
電子ダウザーを有効にする	2x 「矢印キー」を押す	どれかのキーを押して、電子ダウザーを有効にします。

3. 本体の設置

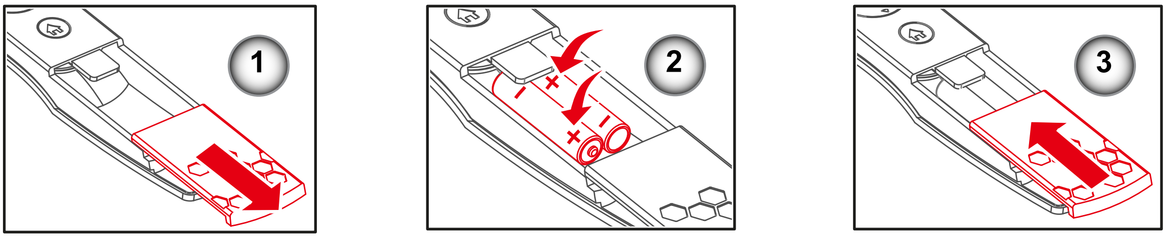
概要

- RCU電池の取り付け
- レンズを取り付ける
- プロジェクタの接続
- プロジェクターの電源オン/オフ
- 投写された映像の調整
- 天井への取り付け

3.1 RCU電池の取り付け

手順:

1. カバーを矢印で示された方向にスライドして取り外します。①
2. 2つの新しい単4電池を挿入します(極性に注意してください) ②
3. コードを交換します。③



リモコン装置に関する注

- 電池は、プラスとマイナスに対応する方向で挿入してください。
- 新しい電池と古い電池の混合は、新しい電池の寿命が短くなったり液漏れする原因となるためおやめください。
- 指示されたように単4電池のみを使用し、リモコンに異なるタイプの電池を挿入しないでください。
- リモコンを長期間使用する予定がない場合、液漏れによるリモコンの損傷を防ぐために、電池を取り出してください。
- 電池の液体は皮膚に有害です。素手で液漏れに直接触れないでください。新しい電池を取り付けるとき、液漏れを完全に取り除いてください。
- ほとんどの環境下で、リモコンはスクリーンの方にのみ向ける必要があります。IR信号はスクリーンに反射してプロジェクターのIRセンサーに受信されます。しかし、特定の環境下では、プロジェクターが環境要因によりリモコンからの信号を受信できない場合があります。この場合、リモコンをプロジェクターに向けて再試行してください。
- 効果的な信号受信の範囲が狭まったりリモコンが作動しなくなった場合、電池を替えてください。
- 赤外線受信機が蛍光ランプや強い日光にさらされると、リモコンが通常通りに作動しないことがあります。
- 使用済み電池の廃棄については、地方自治体のいより定められた規制を参照してください。不適切な廃棄は環境にダメージを与える可能性があります。

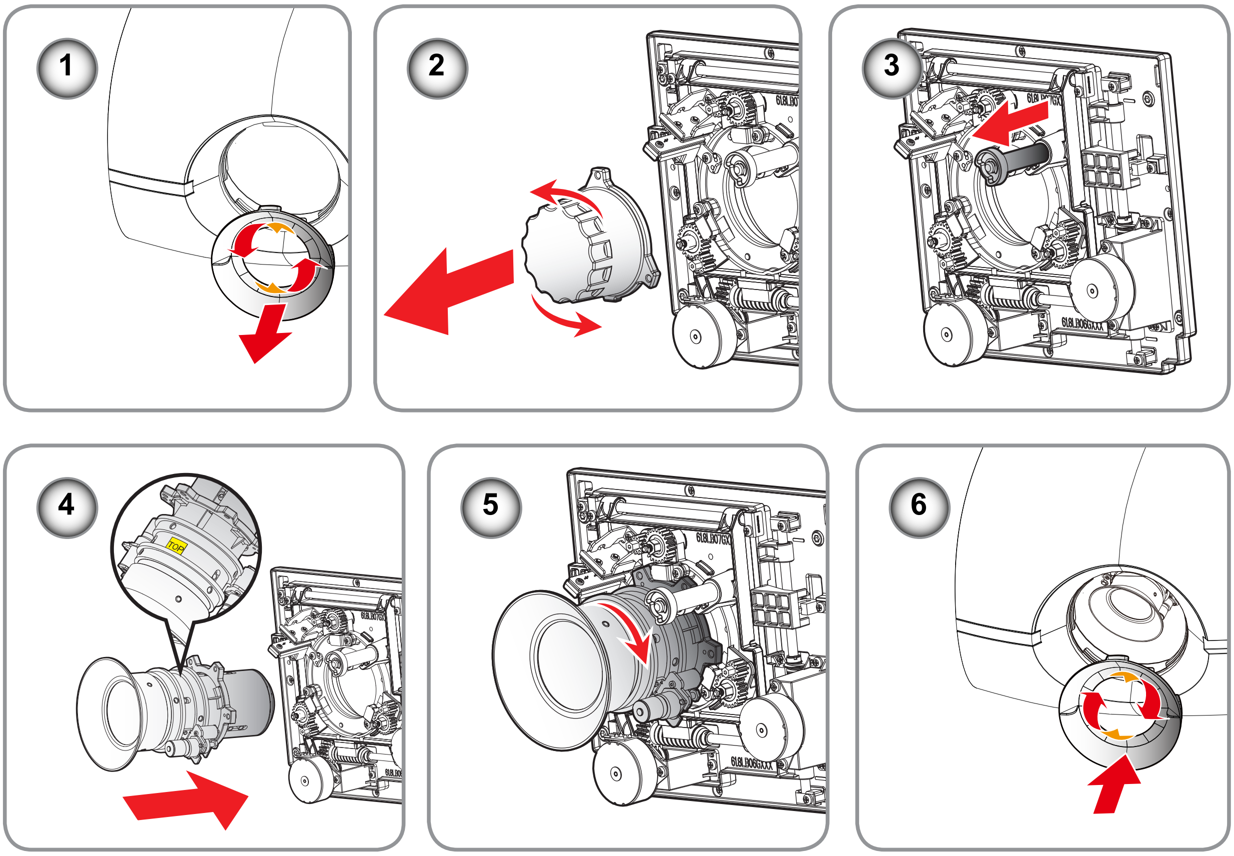
3.2 レンズを取り付ける

警告:この手順は、資格のある技術者しか実施することができません。

手順:

1. プロジェクターのスイッチを切って、電源コードを抜いてください。
2. レンズ交換を始める前に、プロジェクターの温度が下がるまで最低でも1分はお待ちください。

3. レンズのリングカバーを取り外します。①
4. レンズキャップを反時計回りに回して取り外します。②
5. バーを引っ張ってロックを解除します。③
6. レンズのラベルが上を向いていることを確認したら、レンズを所定の位置に押し込みます。④
7. レンズを時計回りに回してレンズをロックしながら、③バーを引っ張ってロックを解除します。⑤
8. レンズのリングカバーを引っ張って、元の場所に戻します。レンズエッジの上をゴム手袋をはめた指で押します。⑥
9. レンズモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
10. 取り付ける前に、レンズキャップを外しておきます。外し忘れると、プロジェクターを破損するおそれがあります。



注意: レンズを取り付けたまま、プロジェクターを輸送しないでください。

レンズ仕様

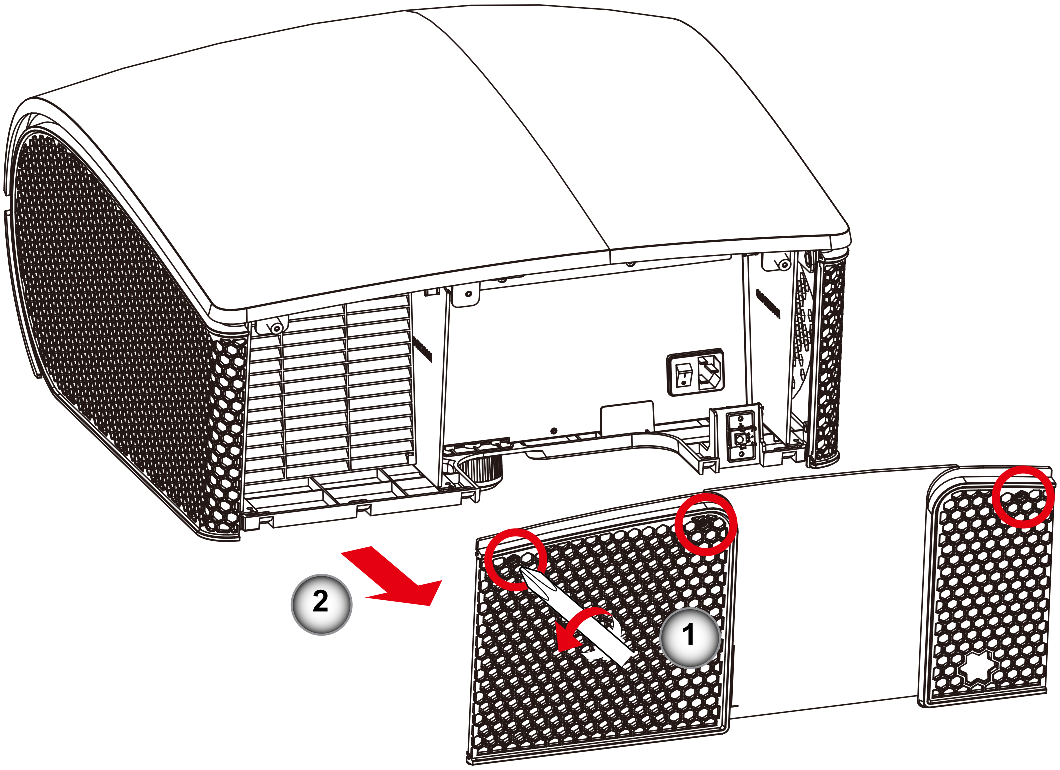
投射レンズP/N	R9832755	R9832753	R9832754	R9832756
レンズの種類	ワイドズーム	標準XGA/WXGA	標準WUXGA	長いズーム
投影比(XGA)	0.99-1.26	1.26-1.58	---	1.58-3.00
投影比(WXGA)	1.00-1.28	1.28-1.61	---	1.60-3.07
投影比(WUXGA)	0.95-1.22	---	1.22-1.53	1.52-2.92
ズーム比	1.28X	1.25X	1.25X	1.9X

3.3 プロジェクタの接続

3.3.1 背面カバーを取り外す

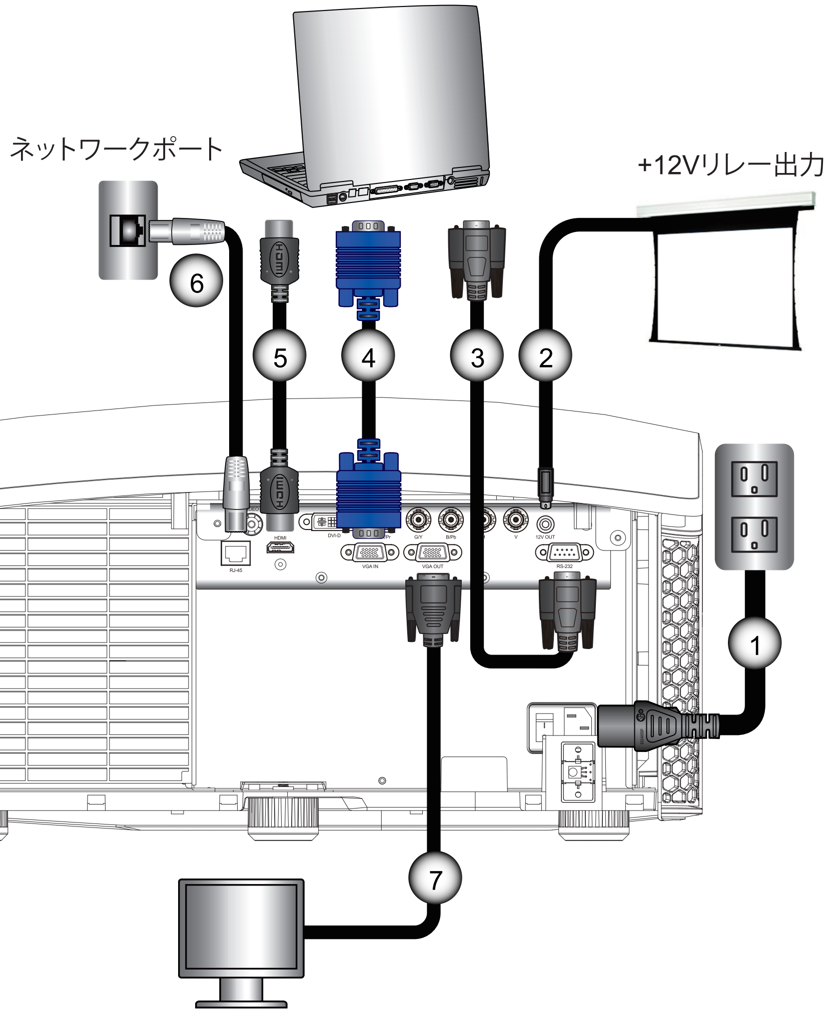
手順

1. カバーの3本のねじを外します。①
2. カバーを押し上げて取り外します。②
3. 背面カバーを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。



3.3.2 コンピュータまたはノートパソコンとの接続

配線図



1 電源コード

2 12V DCジャック

3 RS232ケーブル

4 VGA入力ケーブル

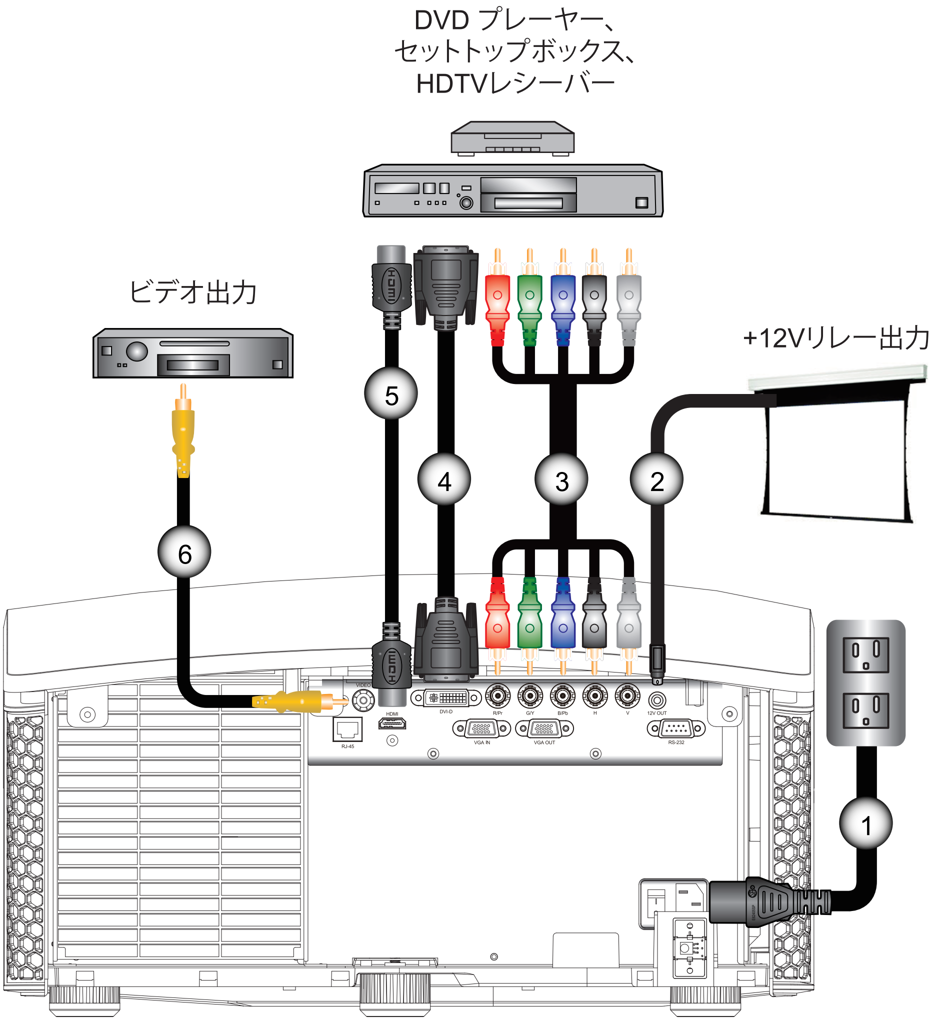
5 HDMIケーブル

6 ネットワークケーブル

7 VGA出力ケーブル

3.3.3 ビデオソースとの接続

配線図



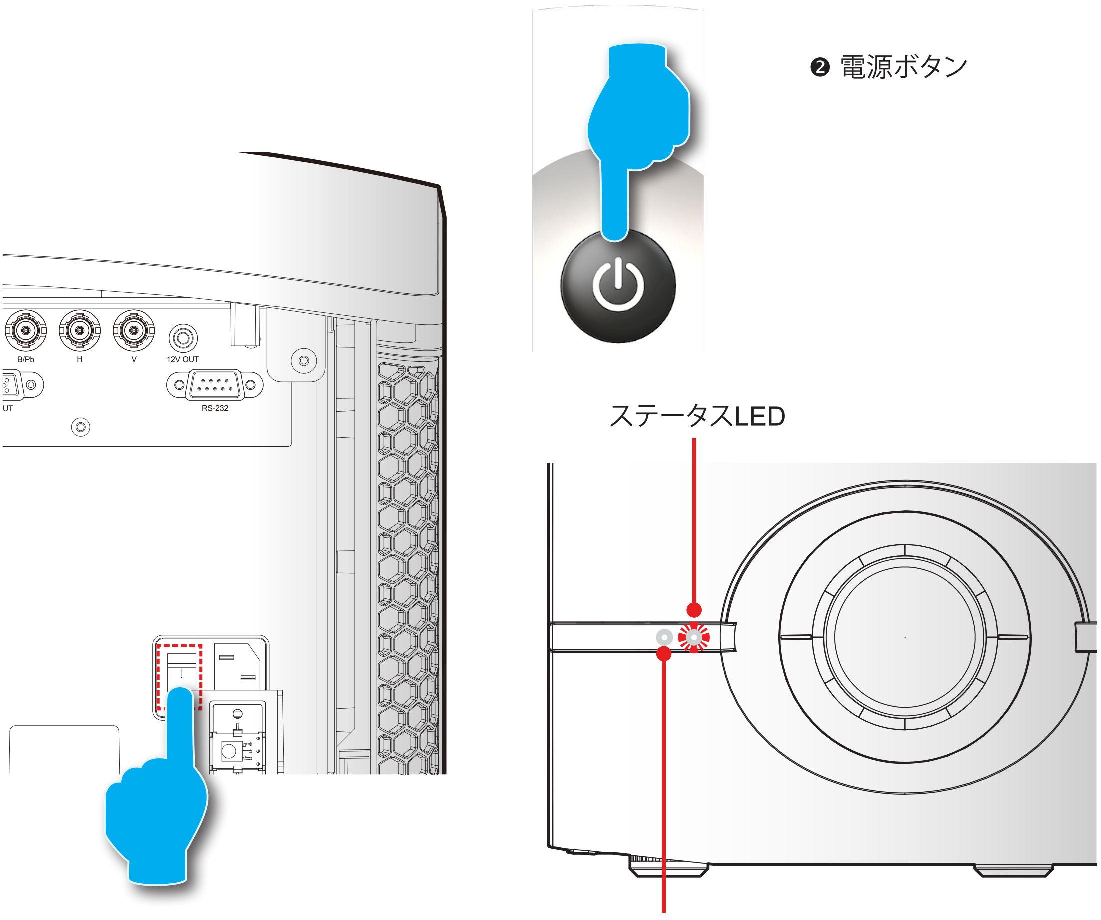
1. 電源コード
2. 12V DCジャック
3. BNCケーブル
4. DVI-Dケーブル
5. HDMIケーブル
6. コンポジットビデオケーブル

3.4 プロジェクターの電源オン/オフ

3.4.1 プロジェクターの電源を入れる

手順:

1. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。スイッチ❶をオンにすると、ステータスLEDが赤く点灯します。
1. リモコンの"⏻"ボタンを押してランプを点灯します。ステータスLEDはオフです。❷
   約 10 秒で起動画面が表示されます。
2. 使用するソースの電源を入れます。リモコンで入力ソースを選択します(HDMI、VGA、BNC, DVI、Video)。
   選択したソースをプロジェクタが検出して画像を表示します。



3.4.2 プロジェクターの電源を切る

手順:

1. リモコンの"⏻"キーを押すと、プロジェクターのスクリーンにメッセージが表示されます。
2. "⏻"ボタンを押さないと、メッセージは 5 秒後に消えます。もう一度キーを押すことを確認します。

注意: スタンバイモードに入った直後にプロジェクタの電源を入れないで下さい。

3.5 投写された映像の調整

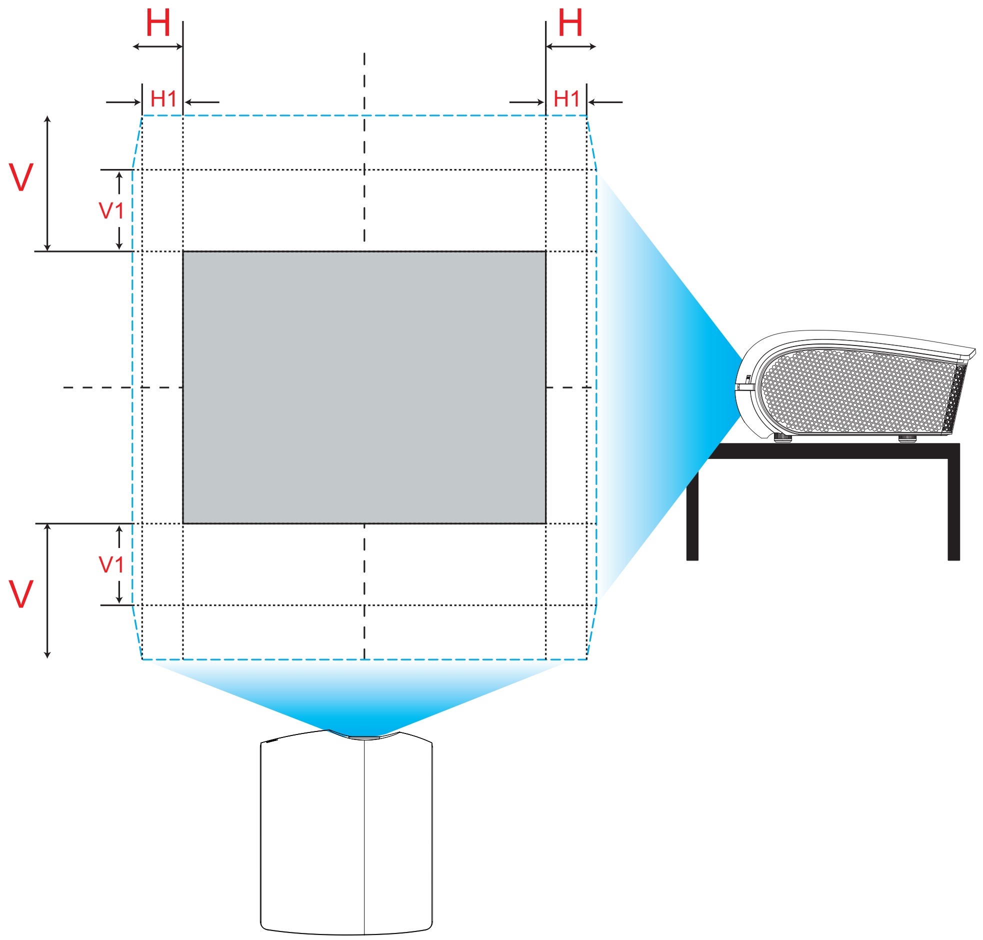
プロジェクタの位置の調整

プロジェクターの位置は、スクリーンのサイズや形、電源コンセントの位置、およびプロジェクターとその他のデバイスとの距離に基づいて決定します。以下は、一般的なガイドラインです。

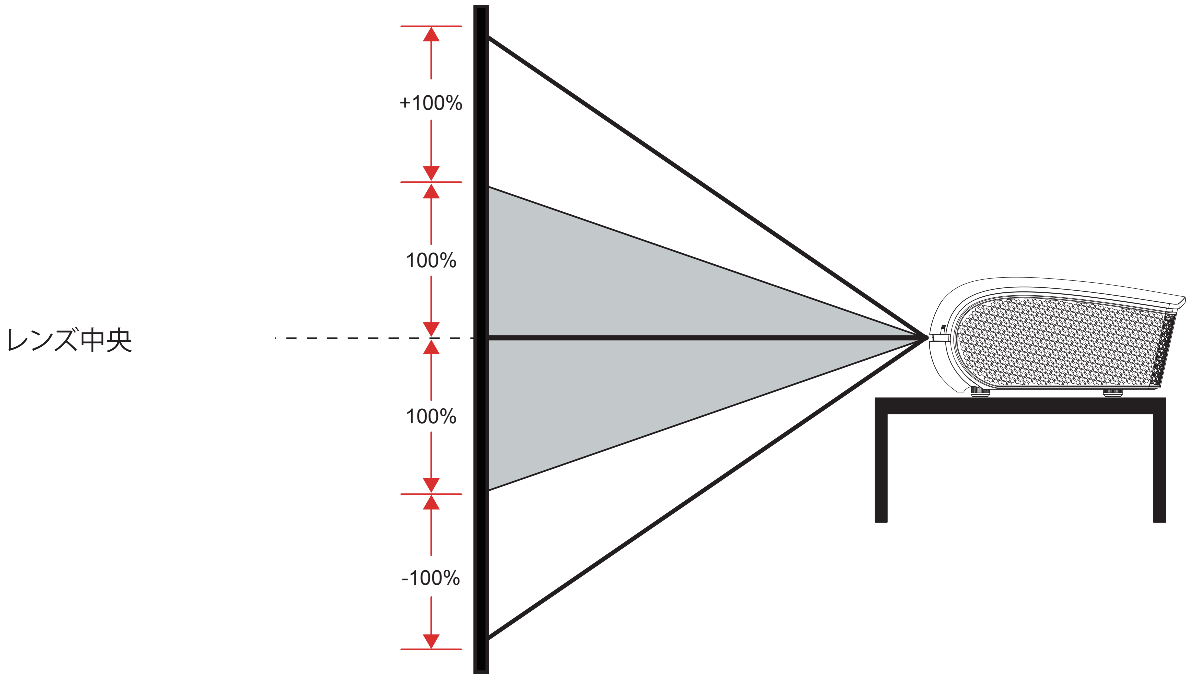
- プロジェクターは、画面に対して直角の角度の平たい表面に配置します。
- プロジェクターをスクリーンに対して適切な位置に配置します
  プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、そしてビデオ形式が投写される画像のサイズを左右します。
- プロジェクターの画像オフセット(シフト)範囲については、以下を参照してください。

モデル	H	V	H1	V1
PGXG-61B	28%	100%	0%	40%
PGWX-61B	28%	100%	20%	60%
PGWU-61B	28%	100%	20%	40%

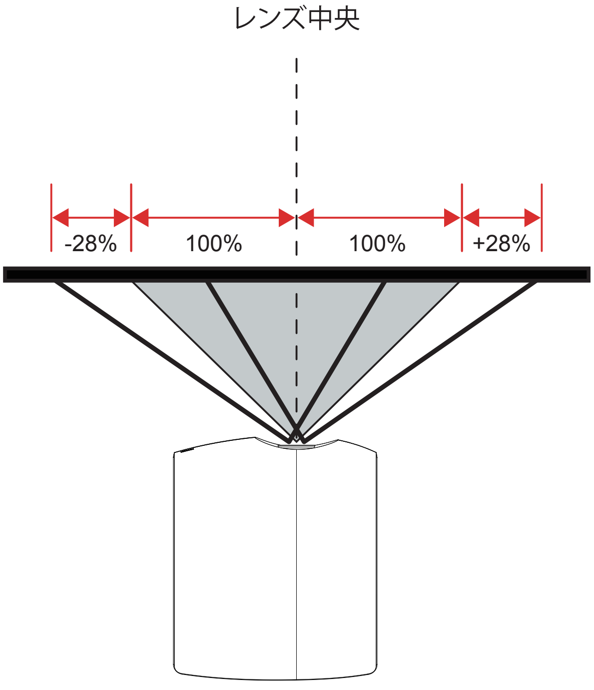
H：レンズが中心に置かれている場合、水平画像のオフセット範囲。
V：レンズが中心に置かれている場合、垂直画像のオフセット範囲。
H1：レンズが+/-100%垂直オフセットにあるとき、水平画像のオフセット範囲。
V1：レンズが+/-28%水平オフセットにあるとき、垂直画像のオフセット範囲。



垂直画像オフセット：+/-100%



水平画像オフセット：+/-28%

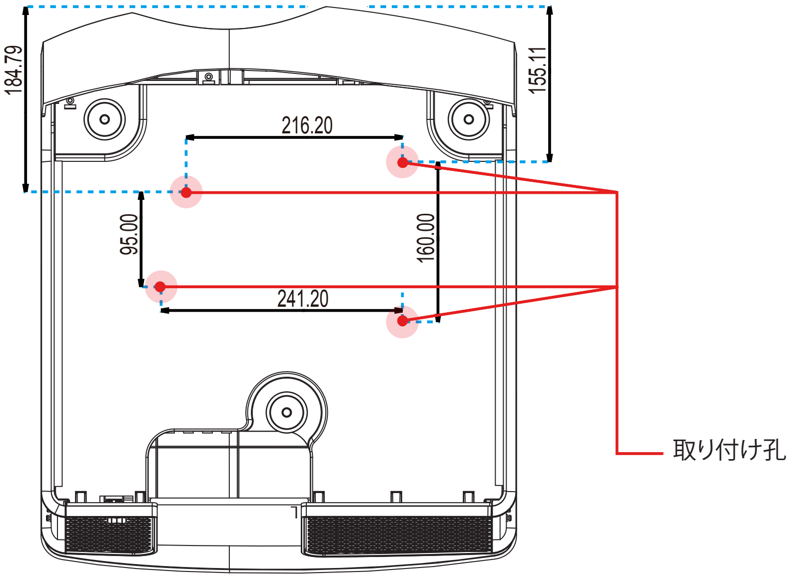


3.6 天井への取り付け

要件

マウントをプロジェクターに取り付けるために使用されるねじが、次の仕様を満たしていることを確認してください。

- ネジの種類：M6*10
- 取り付け寸法



注：不適切な設置による破損や故障については保証いたしかねますのでご了承ください。

4. ユーザーコントロール

概要

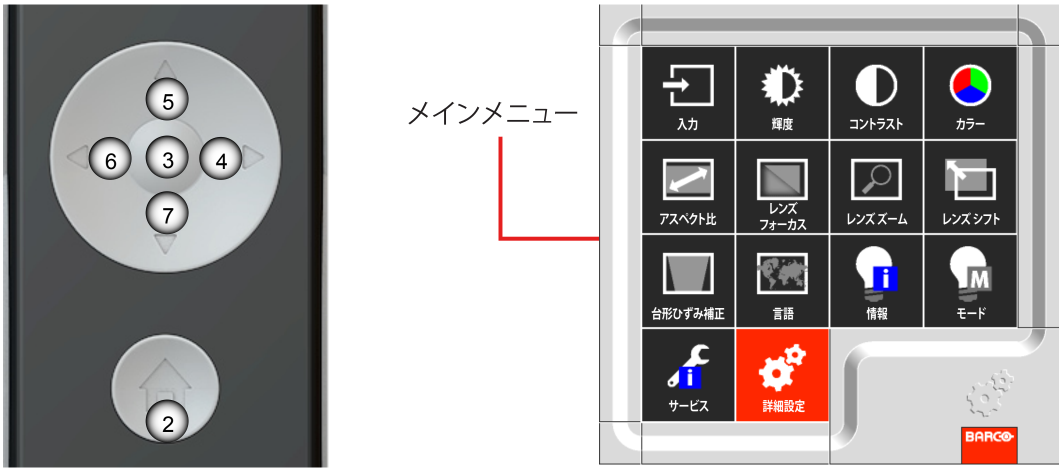
- オンスクリーン・ディスプレイメニュー

4.1 オンスクリーン・ディスプレイメニュー

本プロジェクターでは、オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

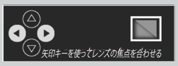
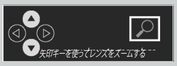
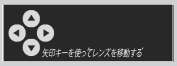
4.1.1 OSD Liteメニューを使用する

メインメニューとボタン



機能性

基本OSD Liteナビゲーション (結果)	リモートLite (アクション)		OSD Lite (オンスクリーン)
スクリーンにOSD Liteのメインメニューを表示する	「ホーム」を押す	2	メインメニューが右下に表示されます
OSD Lite内を移動する	「矢印キー」を押す	5 6 4 7	機能が使用できるようになると、ボタンは赤く点灯します
希望する機能を選びます	「OK」を押す	3	希望する機能のメニューが表示されます
メニューを終了するか、スクリーンを消去します	「ホーム」を押す	2	メインメニューが表示されるか、またはメインメニューに入っているときスクリーンが消去されます

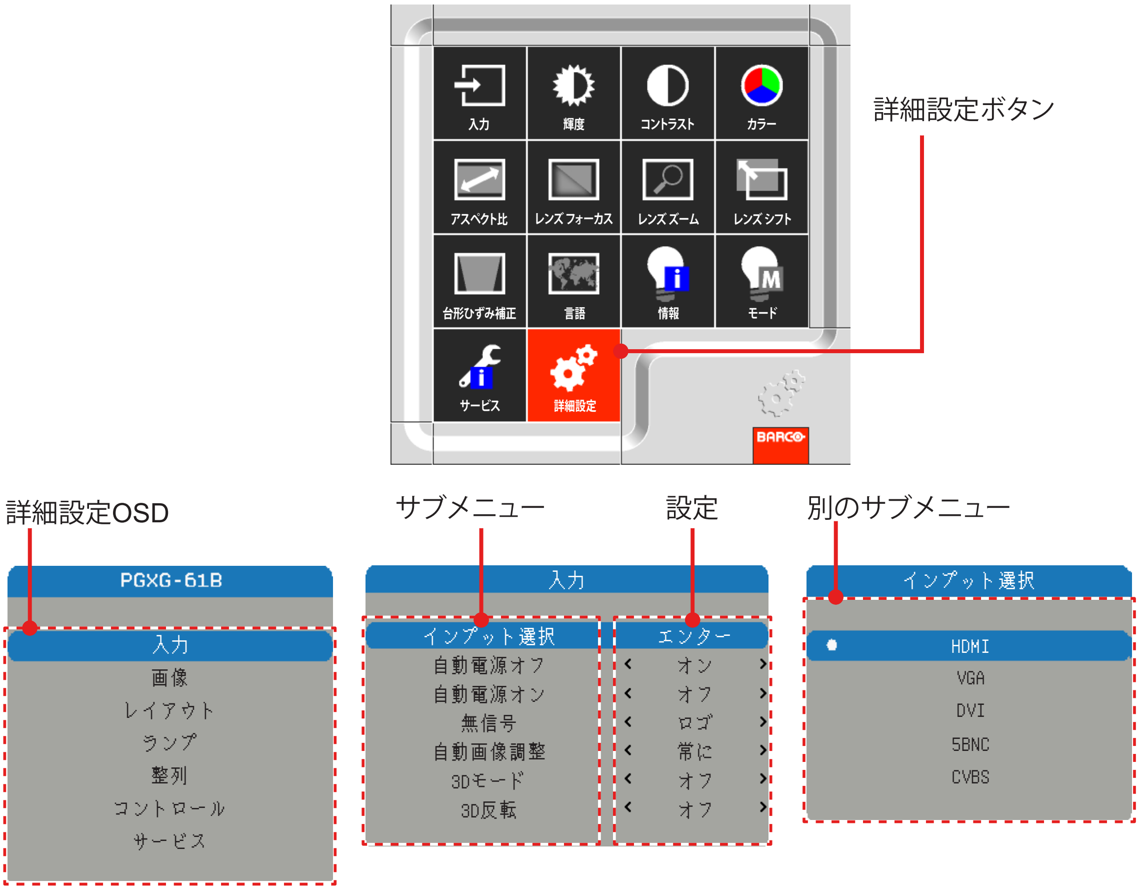
ホットキー / ショートカット リモートコマンド(結果)	Remote Lite -> OSD Lite (アクション -> オンスクリーン)	
ぼやけたスクリーンを素早く調製する	3   5 6 4 7 > 3  5 6 4 7 > 3	
プロジェクターの映像を消音にする	5 > 5	
プロジェクターの映像の消音をオフにする	どれかのキーを押す	

メインメニューがスクリーンに表示されているとき、必須ボタンに移動します(結果)			Remote Lite -> OSD Lite (アクション -> オンスクリーン)		
入力を手動で選択する			3 > 5 6 4 7	希望する入力に移動する(デフォルト設定 = AutoSelect)	> 3
画像を明るく、または暗くします			3	6 4 デフォルト設定=中	> 3
明るい/暗い領域間のコントラストに適応させます			3	6 4 デフォルト設定=中	> 3
自分の画像に最適なカラープリセットを選択します			3	表示する最高条件「コンピュータ」画像(=デフォルト画像)	3
			3	ムービーを表示する最高のオプション	3
			3	100%明るい	3
アスペクト比を調製する			3 > 5 6 4 7	希望するアスペクト比に移動する(デフォルト設定 = NATIVE)	> 3
画像のフォーカスを調製する			3 矢印キーを使ってレンズの焦点を合わせる	6 4	> 3
画像のサイズを調製する	5 6 4 7		3 矢印キーを使ってレンズをズームする	5 7	> 3
画像の位置を調製する			3 矢印キーを使ってレンズを移動する	5 6 4 7	> 3
台形ひずみ補正を調製する			3 矢印キーを使って 垂直キーストンを実行する	5 7	> 3
			3 矢印キーを使って 垂直キーストンを実行する	6 4	> 3
言語を選択する			3 > 5 6 4 7	希望する言語に移動する(デフォルト設定 = ENGLISH)	> 3
ランプ情報を表示する			3		> 3
ランプモードを選択する			3 > 6 4	希望するランプモードに移動する(デフォルト設定 = NORMAL)	> 3
プロジェクター情報を表示する			3		> 3
アドバンストメニューに入る			3 >	順次キーを押す：LEFT(左) > LEFT(左) > RIGHT(右) > DOWN(下)ボタンでアドバンストメニューに入ります。	> 3

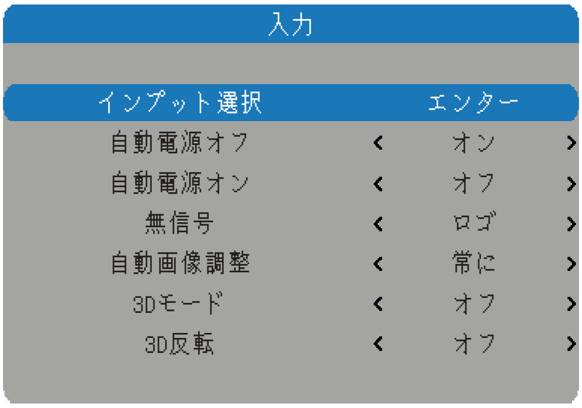
4.1.2 詳細設定OSDメニューの使用

手順：

1. OSD Liteメニューの詳細設定ボタンを選択してから、順次キーを押します。LEFT(左) > LEFT(左) > RIGHT(右) > DOWN(下)ボタンでアドバンストメニューに入ります。
2. 詳細設定OSDが表示されたら、矢印キーを使ってメニューを自由にナビゲートして必要な項目を設定します。
3. 上/下矢印ボタンを使ってサブメニューで必要な項目を選択し、左/右矢印ボタンを使って設定を調整します。またはENTERを押して別のサブメニューへ移動します。
4. サブメニューで次に調整する項目を選択し、上記と同じ手順で設定を調整します。各項目が調整されると、新しい設定がプロジェクターによって保存されます。
5. 前のメニューに戻るには、ホームボタンを押します。
6. OSDメニューを終了するには、ホームボタンを再度押します。



4.1.2.1 インプットメニュー



インプット選択

アクティブなソースを選択します。次のオプションがあります。

- HDMI
- DVI
- VGA
- 5BNC
- ビデオ

自動電源オフ

同期信号が検出されない場合、一定時間を経過するとスイッチが切れます。

- オフ：デフォルト値。自動電源オフ機能を無効にします。
- オン：20分間信号が検出されないと、プロジェクターの電源が自動的に切れます。

自動電源オン

プロジェクターの電源を接続してプロジェクターのスイッチを入れると、自動的にプロジェクターが起動します。

- オフ：デフォルト値。プロジェクターは電源が接続されても電源がオンになりません。プロジェクターの電源はユーザーがオンにします。
- オン：プロジェクターの電源を接続してプロジェクターのスイッチを入れると、自動的にプロジェクターが起動します。

無信号

信号が無いときに表示される画像を選択します。

- ロゴ：デフォルト値。メーカーのロゴ画面を検索して表示します。
- ブルー：青色(RGB=0,0,255)画面を検索して表示します。
- ブラック：黒色(RGB=0,0,0)画面を検索して表示します。
- ホワイト：白色(RGB=255,255,255)画面を検索して表示します。

自動画像調整

自動画像メニューのモードを選択します。

- 常に：デフォルト値。前のソースと同じタイミングであっても、常に画像/自動画像の機能を実行します。
- オフ：画像/自動画像の機能を実行しません。
- 自動：前のソースと別のタイミングを取得したときに、画像／自動画像の機能を実行します。

3Dモード

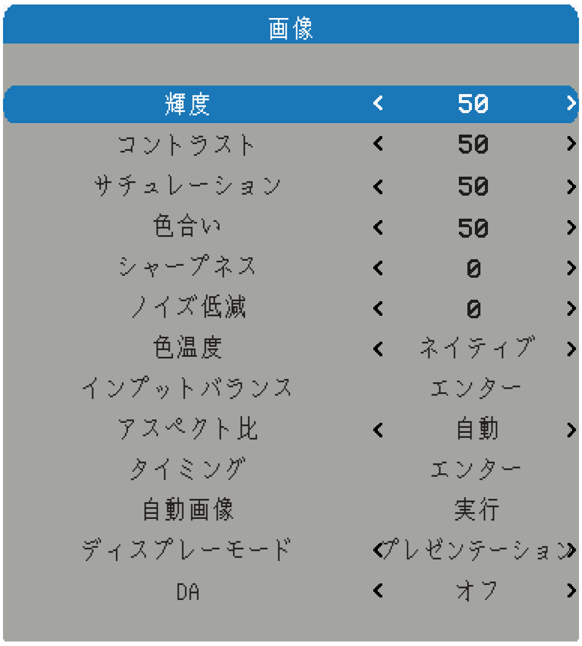
3Dモードを選択します。

- オフ：デフォルト値。
- オン：「オン」を設定して3D画像向けに3D設定をオンにします。互換3Dソース、3D表示には3Dコンテンツおよびアクティブシャッターメガネが必須です。

3D反転 (オフ&オン)

- オフ：デフォルト値。
- オン：3D反転「オン」を設定して、左および右フレームのコンテンツを反転します。

4.1.2.2 画像メニュー



輝度

画像の明るさを調整します。

- ◀ を押すと画像が暗くなります。
- ▶ を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

画像のコントラストを調整します

- ◀ を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが上がります。

サチュレーション

画像のサチュレーションを調整します。

注:サチュレーション機能をサポートするソースは次の通り。コンポジット、シンクオングリーン。

- ◀ を押すと画像のサチュレーションが低くなります。
- ▶ を押すと画像のサチュレーションが高くなります。

色合い

画像の色合い(赤と緑の間の色バランス)を調整します。

- ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ を押すとシャープネスが強くなります。

ノイズ低減

画像に一時的にまたは部分的に表示されるノイズを低減します。

- ◀ を押すとノイズが下がります。
- ▶ を押すとノイズが強くなります。

色温度

画像の色温度を調整します。

- ネイティブ：デフォルト値。ネイティブはおよそ5500Kです。
- 3200K：およそ3200Kの色温度を適用します。
- 5400K：およそ5400Kの色温度を適用します。
- 6500K：およそ6500Kの色温度を適用します。
- 8800K：およそ8800Kの色温度を適用します。

インプットバランス

画像の赤、緑、または青チャネルのゲインまたはオフセットを調整します。コントラストの調整に似ていますが、単一の色チャネルだけに影響します。

- オフセット：投写された画像の暗い領域の色バランスの制御に関与します。
- ゲイン：投写された画像の明るい領域の色バランスの制御に関与します。
- ◀ を押すとインプットバランスが下がります。
- ▶ を押すとインプットバランスが下がります。

アスペクト比

画像のアスペクト比を調整します。

- 4:3：インプット画像は4：3のアスペクト比にリサイズされます。
- 16:10：インプット画像は16：10のアスペクト比にリサイズされます。
- ネイティブ：ソースの本来のアスペクト比を維持したままスクリーンに合うように調整されます。高さまたは幅どちらかが先に決定します。
- 自動：適切なディスプレイ形式を自動的に選択します。

タイミング

画像おの水平位置、フェーズ、または垂直位置を調整します。

注：タイミング機能をサポートするソースは次の通り。アナログコンピュータ、アナログコンポーネント。

- ◀ を押すと、水平位置、フェーズ、または垂直位置が下がります。
- ▶ を押すと、水平位置、フェーズ、または垂直位置が上がります。
- 画像のフィルムモード、ブラックレベル、またはカラースペースを調整します。
- Black Level NTSC：NTSCのブラックレベルを設定します。
- フォーマット：ソースのカラースペースフォーマットを選択します。入力ソースによって異なります。

自動画像

自動画像調整を実行します。

- 画像サイズ、フェーズ、タイミングを自動的に調整するときは、実行を選択します。
- プロジェクターがインプットシグナルを再取得しロックするように強制します。信号クオリティがあまりよくない場合に便利な機能です。このコマンドを実行すると、プロジェクターは検索状態に入ります。信号を再取得すると、画像設定（Hスタート、Hフェーズ、Vスタート）が入力信号に合わせて最適化されます。

ディスプレーモード

画像のシーケンスと波形を変更します。

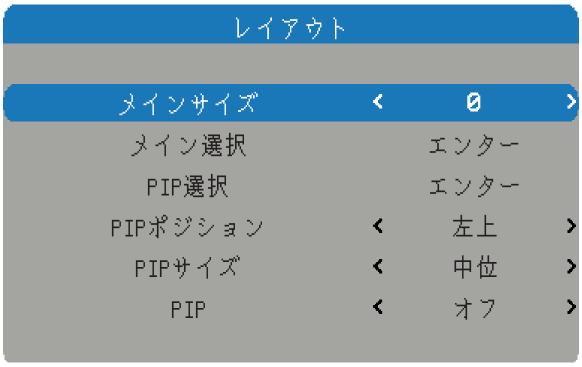
- 輝度：デフォルト値。最大ルーメン出力で表示します。
- プレゼンテーション：プレゼンテーションやコンピュータグラフィックに最適の画像を表示します。
- ビデオ：ビデオソース(DVD, TVなど)に最適の画像を表示します。

DA

ダイナミックコントラストを有効にするには、DA機能をオンにします。

- オフ：デフォルト値。
- オン：DAをオンに設定します。

4.1.2.3 レイアウトメニュー



メインサイズ

メイン画面のサイズを設定します。

この機能は、ズームアウト/クロッピング画像です。画像の位置は中央を維持します。

- ◄ を押すとメインサイズが小さくなります。
- ► を押すとメインサイズが大きくなります。

メイン選択

メイン画面のソースを設定します。

- HDMI
- DVI
- VGA
- 5BNC
- ビデオ

PIP選択

PIP画面のソースを設定します。この機能は、PIP機能がオフのとき灰色で表示されます。

- HDMI
- DVI
- VGA
- 5BNC
- ビデオ

PIPポジション

PIP画面の位置を設定します。

- 右上:この機能のデフォルト設定です。
- 左上
- 左下
- 右下

PIPサイズ

PIP画面のサイズを設定します。

PIPサイズはインプット解像度ごとに別のサイズを設定できます。

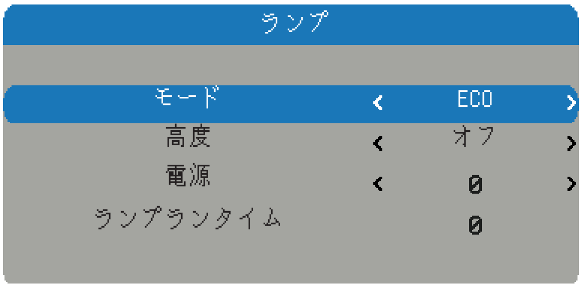
- スモール:PIP画面のサイズは、画面全体の約1/9くらいになります。
- 中位:PIP画面のサイズは、画面全体の約1/8くらいになります。
- ラージ:PIP画面のサイズは、画面全体の約1/7くらいになります。

PIP

PIP画面機能を有効にします。

- オフ:デフォルト値。PIP機能が無効になり、メイン画面だけが表示されます。
- オン:PIP画面がメイン画面上に重ねて表示されます。

4.1.2.4 ランプメニュー



モード

プロジェクターのランプモードを設定します。

- ノーマル：デフォルト値。ノーマルモードでは、ランプのワット数を330Wに設定します。
- ECO：ECOモードでは、ランプのワット数を280Wに設定します。
- 電源：ランプ電力調整を有効にします。

高度

「オン」が選択されているとき、ファンは高速で回転します。この機能は、空気が薄い高地で役に立ちます。

- オフ：デフォルト値。
- オン：高海抜モードをオンにします。

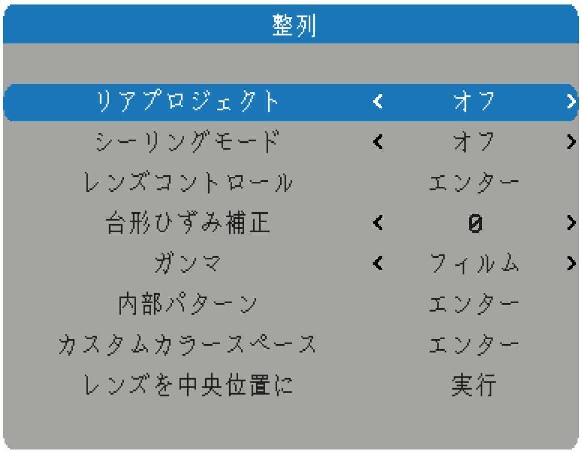
電源

プロジェクターのランプの電力レベルを設定します。

注：電力調整機能は、ランプの設定をECOモードまたはノーマルモードに設定した場合、利用できません。

- ◄ を押すと電力レベルが下がります。
- ► を押すと電力レベルが上がります。

4.1.2.5 整列メニュー



<u>リアプロジェクト</u>

画像を水平反転します。ロジェクターをスクリーンの後方に配置した場合に使用します。

- オフ：デフォルト値。スクリーンの前方にプロジェクターを設置した場合の設定です。
- オン：プロジェクターのリアプロジェクト機能を有効にします。

<u>シーリングモード</u>

画像を垂直反転します。プロジェクターを天吊り状態で利用するときに使用します。

- オフ：デフォルト値。プロジェクターはテーブルモードです。
- オン：プロジェクターはシーリングモードです。

<u>レンズコントロール</u>

- ズーム：レンズがズームします。
- フォーカス：レンズがフォーカスします。
- レンズシフトへは＜エンター＞：エンターを押すごとに、ズーム/フォーカスとシフトの間で切り替えます。
- 左/右：レンズを左/右にシフトします
- 上/下：レンズを上/下にシフトします
- ズーム/フォーカスへは＜エンター＞：エンターを押すごとに、ズーム/フォーカスとシフトの間で切り替えます。

<u>台形ひずみ補正</u>

垂直台形ひずみを調整します。

<u>ガンマ</u>

ガンマタイプを設定します。

- フィルム：ホームシアター用。
- ビデオ：ビデオまたはTVソース用。
- 画像：イメージソース用。
- 標準：PCまたはコンピュータソース用。

<u>内部パターン</u>

プロジェクターは、校正を行うためにいくつかの画像パターンを内蔵しています。

- なし
- ホワイト
- グリッド

<u>カスタムカラースペース</u>

原色と白のX値とY値を調整します。

- 赤の赤重み付け
- 赤の青重み付け
- 緑の赤重み付け
- 青の青重み付け
- 青の緑重み付け
- 白の緑重み付け
- 赤の緑重み付け
- 緑の緑重み付け
- 緑の青重み付け
- 青の赤重み付け
- 白の赤重み付け
- 白の青重み付け

- ◀ を押すとカスタムカラースペースの値が下がります。
- ▶ を押すとカスタムカラースペースの値が上がります。
- デフォルトにリセット：すべてのカラーポイントをデフォルト値にリセットします。

有効

- オフ：デフォルト値。
- オン：CCN有効。

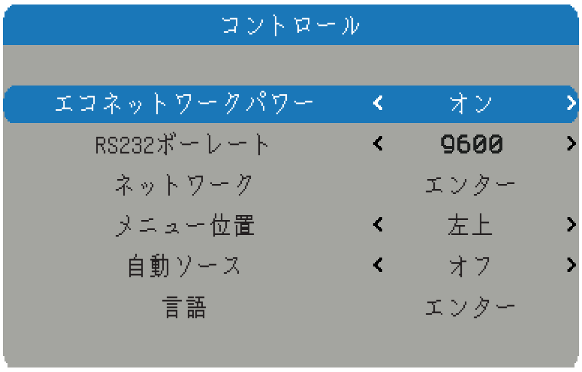
自動テストパターン

- オフ：自動テストパターンをオフに設定する。
- オン：デフォルト値。

レンズを中央位置に

レンズを中央/軸上位置に設定します。

4.1.2.6 コントロールメニュー



エコネットワークパワー

節電のためにネットワーク電源のオン/オフを切り替えます。

- オフ：デフォルト値。ネットワークはスタンバイモードです。
- オン：ネットワークはスタンバイモードではありません。

RS232ボーレート

RS232ボーレート

- 115200：この機能のデフォルト設定です。
- 9600/19200：その他のオプション。

ネットワーク

関連のネットワーク情報を表示します。

- IPアドレス：デフォルト値は192.168.0.100です。
- サブネット マスク：デフォルト値は255.255.255.0です。
- ゲートウェイ
- DHCP：デフォルト値はオフです、IPアドレスを手動で入力しAPPLY(適用)を押します。
- 適用：
  - DHCP機能は「オン」に設定する必要がありますが、「適用」を押すと、DHCPサーバーからIPアドレスが自動的に取得されます。
  - IPを取得するには、数秒かかります。
  - IPアドレスの取得に失敗した場合、再び適用してください。

メニュー位置

メニューボックスの表示位置を変更します。

- 中央：この機能のデフォルト設定です。
- 左上
- 右上
- 左下
- 右下

自動ソース

ソース検索を自動で行います。

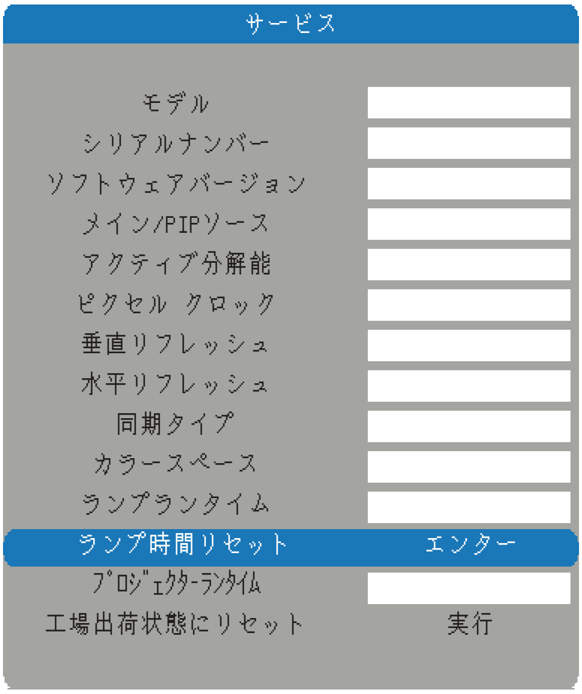
- オン：デフォルト値。自動ソース検索が有効です。
- オフ：自動ソース検索は無効です。

言語

OSDメニューとして表示する言語を選択します。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- スペイン語
- 簡体字中国語
- 日本語

4.1.2.7 サービスメニュー



モデル
プロジェクターのモデル番号を示します。

シリアルナンバー
プロジェクターのシリアル番号を示します。

ソフトウェアバージョン
プロジェクターにインストールされているソフトウェアのバージョンを示します。

メイン/PIPソース
現在のメインソースとPIPソースを表示します。

アクティブ分解能
現在のソースの解像度を表示します。

ピクセル クロック
現在の入力信号のピクセルクロックを表示します。

垂直リフレッシュ
現在のソースの垂直リフレッシュレートを表示します。

水平リフレッシュ
現在のソースの水平リフレッシュレートを表示します。

同期タイプ
以下のいずれかの値です。

- セパレート：独立した水平同期と垂直同期があります。
- シンクオングリーン シンクオングリーンチャネル。
- コンポジット：同期信号はビデオ信号内に組み込まれています。

カラースペース
現在のカラースペースを表示します。

ランプランタイム
現在のランプのランタイムを表示します。

ランプ時間リセット
ランプの時間をゼロにリセットします。

プロジェクターランタイム

プロジェクターの総運転時間を表示します。

工場出荷状態にリセット

現在のすべての設定をデフォルト値に戻します。

この機能は、無信号、ネットワーク、言語、ランプ時間、プロジェクター時間の項目には適用されません。

5. 故障かなと思ったら

概要

- 画像の問題
- LEDインジケータ表
- 警告メッセージ

注:プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

5.1 画像問題

- スクリーンに何も画像が表示されない
  - すべてのケーブルと電源が、「本体の設置」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
  - コネクタのピンがすべて揃い、正常な状態かどうかを確認してください。
  - プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。

  注:このプロジェクターは解像度1920*1200を表示できませんが、1920*1200 RBは表示可能です。

- 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない
  - コンピュータを使用している場合(Windows 95、98、2000、Windows 7の場合):
    - [マイコンピュータ] アイコンから[コントロールパネル] フォルダを開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
    - [設定] タブを選択します。
    - 画面の解像度設定がWUXGA (1920 × 1200)以下であることを確認します。
    - [詳細] ボタンをクリックします。それでもプロジェクタから画像全体が投写されない場合は、現在使用しているモニタディスプレイを変更する必要があります。次のステップを参照してください。
    - 画面の解像度設定が WUXGA (1920 × 1200)以下であることを確認します。
    - [Monitor(モニタ)] タブの[Change(変更)] ボタンを選択します。
    - [すべてのデバイスを表示] をクリックします。次に、SPボックスで [Standard monitor types(標準モニタタイプ)] を選択し、[Models(モデル)] ボックスで必要な解像度モードを選択します。
    - モニタディスプレイの解像度設定が WUXGA (1920 × 1200)以下であることを確認します。
  - ノートパソコン使用時:
    - まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
    - 以下に示すノートパソコン各メーカー向けのショートカットキー組み合わせから該当するものを使用して、ノートパソコンからプロジェクタに信号を送ります。例: [Fn]+[F4]

Acer ⇨	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨	[Fn]+[F7]
Asus ⇨	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

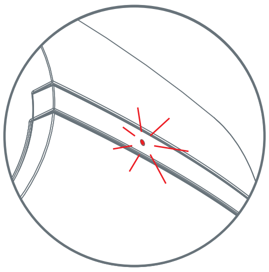
Mac アップル:
システム設定 ⇨ ディスプレー ⇨ 調整 ⇨ ミラーディスプレイ

  - 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。
  - プロジェクタごとの推奨解像度はネイティブ解像度、つまりPGXG-61B 1024×768、PGWX-61B 1280×800およびPGWU-61B 1920×1200です。

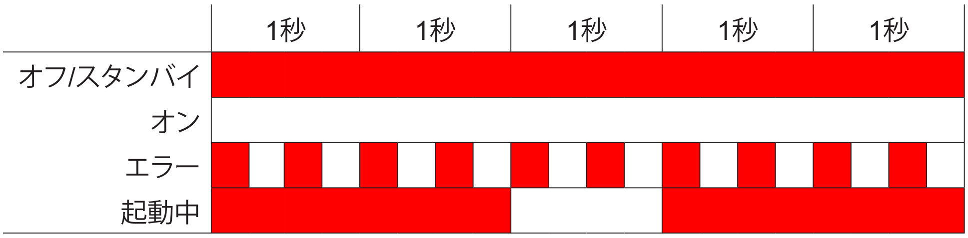
- ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない
  - ノートパソコンを使用している場合
    ノートパソコンの機種によっては、第2ディスプレイ機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。本体画面を有効に戻す方法は機種によって異なります。詳細については、ご使用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。

- 画像が乱れる、またはちらつく
  - 「タイミング\H位相」を使って修正します。
  - コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。
- 映像に縦の縞模様が出る
  - 「自動画像」を使って調整します。
  - グラフィックカードのディスプレーモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。
- 画像のピントが合っていない
  - レンズフォーカスが合うように調整してください。
  - スクリーンが適切な距離に置かれていることを確認してください。
- 16:9 DVD を再生表示しているとき、映像が伸びる
  - アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、OSDでプロジェクターのディスプレイモードを16:9に設定すると、プロジェクターは最高の画面を表示します。
  - 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDでフォーマットを4:3に変更してください。
  - それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
  - お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレーフォーマットをセットアップしてください。
- 画像が小さすぎるまたは大きすぎる
  - レンズズームを調整してください。適切に大きさを調節できないときは、レンズを直すか、プロジェクターの位置を変えてください。
- 画像の両側が斜めになる
  - プロジェクターの位置がスクリーンに対して直角の角度になるように配置してください。
- ランプが消える、またはランプから破裂音がする
  - ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。

5.2 LEDインジケータ表



ステータスLED



5.3 警告メッセージ

メッセージ	説明
フィルターは直ぐに交換する必要があります システムはシャットダウンされます	フィルターエラー： フィルターが機能しないことを示しています。
過熱	過熱： 本体の温度が運転温度を上回っていることを示しています。

注：これらの警告メッセージが表示されたら、サービススタッフにご連絡ください。

6. メンテナンスとサービス

概要

- ランプの交換
- 空気フィルターを交換する
- レンズの交換

6.1 ランプの交換

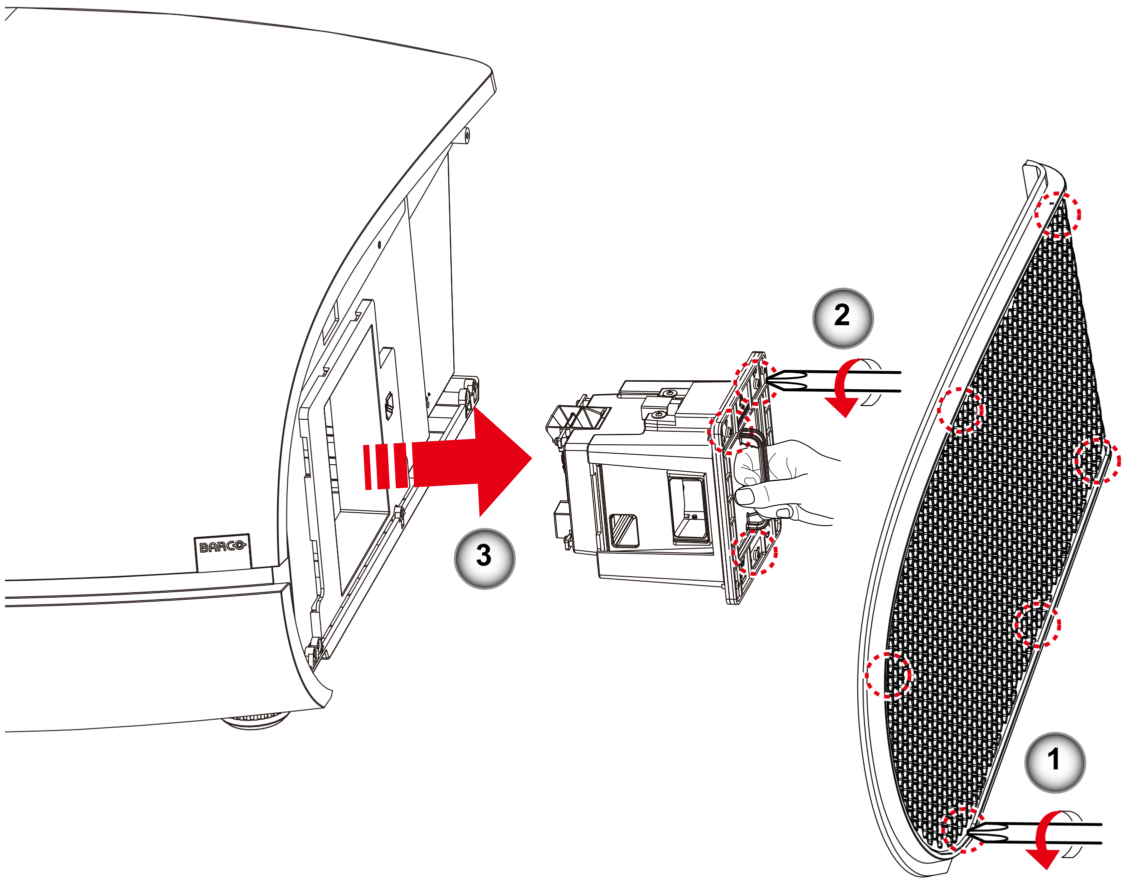
警告:この手順は、資格のある技術者しか実施することができません。

ランプ寿命:

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命がなくなりつつあるとき、OSD liteメニューの「Lamp INFO(ランプ情報)」にランプ交換情報が表示されます。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。

手順:

1. プロジェクターのスイッチを切って、電源コードを抜いてください。
2. ランプが十分冷却されるまで約 30 分間お待ちください。
3. カバーの6つのねじを外します。①
4. カバーを押し上げげて取り外します。
5. ランプモジュールにある3つのねじを緩めます。②
6. ランプハンドルを持ち上げて、ランプモジュールをゆっくり、丁寧に取り出します。③
7. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクターの電源を入れ「ランプ時間リセット」をオンにします。

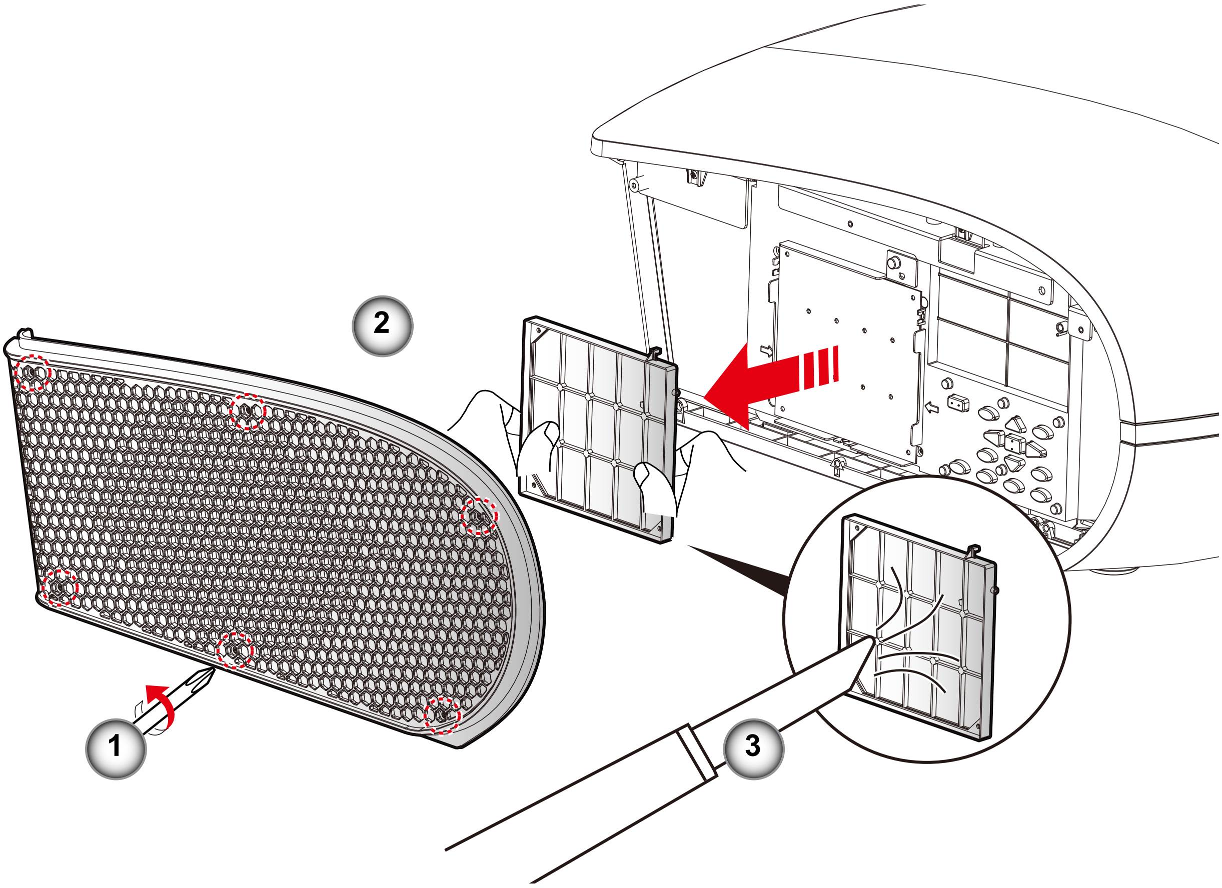


6.2 空気フィルターを交換する

警告：この手順は、資格のある技術者しか実施することができません。

手順：

1. プロジェクターのスイッチを切って、電源コードを抜いてください。
2. ランプが十分冷却されるまで約 30 分間お待ちください。
3. カバーの6つのねじを外します。①
4. カバーを押し上げて取り外します。
5. 空気フィルターをゆっくり、慎重に持ち上げます。②
6. 空気フィルターを洗浄または交換します。③
7. 空気フィルターを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。



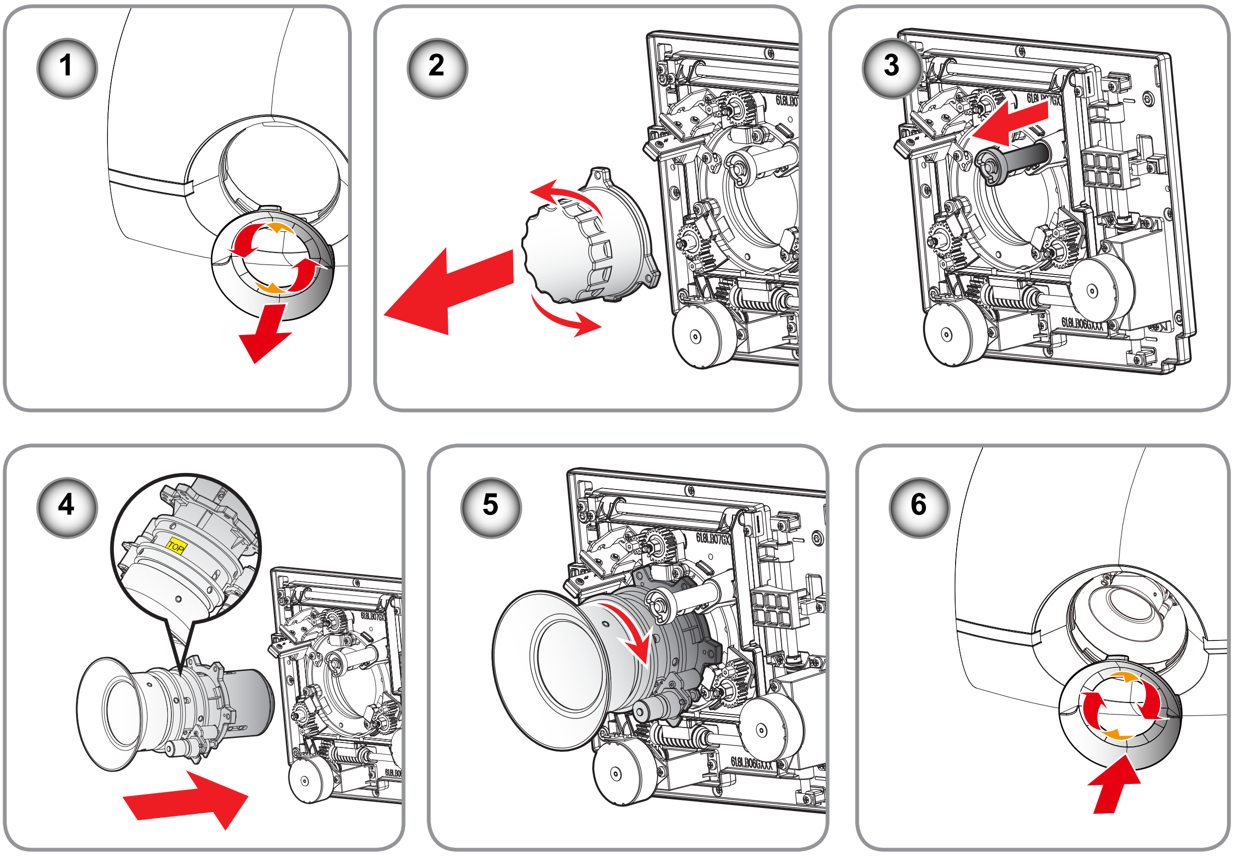
注：空気フィルターは3ヶ月ごとに洗浄することをお勧めします。プロジェクターが埃っぽい環境で使用される場合、より頻繁に洗浄してください。

6.3 レンズの交換

警告:この手順は、資格のある技術者しか実施することができません。

手順:

1. プロジェクターのスイッチを切って、電源コードを抜いてください。
2. レンズ交換を始める前に、プロジェクターの温度が下がるまで最低でも1分はお待ちください。
3. レンズのリングカバーを取り外します。①
4. レンズキャップを反時計回りに回して取り外します。②
5. バーを引っ張ってロックを解除します。③
6. レンズのラベルが上を向いていることを確認したら、レンズを所定の位置に押し込みます。④
7. レンズを時計回りに回してレンズをロックしながら、③バーを引っ張ってロックを解除します。⑤
8. レンズのリングカバーを引っ張って、元の場所に戻します。レンズエッジの上をゴム手袋をはめた指で押します。⑥
9. レンズモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
10. 取り付ける前に、レンズキャップを外しておきます。外し忘れると、プロジェクターを破損するおそれがあります。



注意: レンズを取り付けたまま、プロジェクターを輸送しないでください。

注:レンズをプロジェクターに挿入する前に、レンズからすべてのプラスチックキャップを取り外していることを確認してください。

7. 仕様

概要

- PGXG-61B
- PGWX-61B
- PGWU-61B
- 寸法
- 互換モード

7.1 PGXG-61B

仕様	PGXG-61B
プロジェクターの種類	シングルチップDLPプロジェクター
技術	0.7" DMD
カラーホイール	6S規格(RGBYCW)
解像度	XGA 1024x768
輝度*	6750 ANSIルーメン
輝度(Ecoモード)*	4900 ANSIルーメン
コントラスト比	1100:1
コントラスト比(ダイナミックコントラストモード)	4400:1
輝度むらANSI	80%
アスペクト比	4:3
レンズの種類	Gレンズ
レンズ範囲	1.26-1.58:1 (1.25X)
	0.99-1.26:1 (1.28X)
	1.58-3.0:1 (1.9X)
水平レンズシフト範囲	-28%~+28%
垂直レンズシフト範囲	-100%~+100%
色補正	CCN (1チップの場合)
ランプ	1 x 465W Ushio
ランプ寿命(ECO/ブライト)	2000/1500
輸送(ランプ付き)	はい
密封されたDLP™ コア	TIRプリズムとDMD間の密封

(*) 測定、測定条件、表記法はすべてISO *21118*国際規格に準拠しています。

7. 仕様

仕様	PGXG-61B
光学ダウザー	n/a
高度なピクチャーインピクチャー	はい
方向	テーブル - 天井
ゆがみ	n/a
統合されたWebサーバー	n/a
3D	はい、TI DLP-Link
台形ひずみ補正	はい
使いやすさ	簡易化OSDメニュー + リモコン
入力	G/Y, B/Pb, R/Pr, H/C, V; VGA; CVBS; HDMI-1 v1.3 ; DVI-D
入力解像度	最大WUXGA (1920x1200) 60Hz
ソフトウェアツール	投射ツールセット
コントロール	IR; RS232; RJ45
ネットワーク接続	10/100 Base-T, RJ-45接続
電源要件	100 - 240V / 50 - 60 Hz
消費電力	585W @ 110V; 540W @ 220V
ECOモードにおける消費電力	455W@100VAC,435W@240VAC
スタンバイモードにおける消費電力	<0.5W
ノイズレベルブライトモード (25°C/77°Fで標準)	標準:40 ± 2 dBA
ノイズレベルECOモード (25°C/77°Fで標準)	標準:35 ± 2 dBA
運転周辺温度	5-40°Cまたは41-104°F (海抜)
操作湿度	10-85%
寸法(幅x長さx高さ)	565 x 475 x 253mm
重量	17kg
輸送寸法	790 x 580 x 447mm
工場からの輸送重量	22kg
証明書	CBテスト証明書、US EMC、US安全、CE EMCと安全、CCC EMCと安全
保証	3年標準保証**

(**) 保証とサービス条件は、地域により異なることがあります。詳細については、最寄りの販売またはサービス代理店にお問い合わせください。

7.2 PGWX-61B

仕様	PGWX-61B
プロジェクターの種類	シングルチップDLPプロジェクター
技術	0.65" DMD
カラーホイール	6S規格(RGBYCW)
解像度	WXGA 1280x800
輝度*	6200 ANSIルーメン
輝度(Ecoモード)*	4500 ANSIルーメン
コントラスト比	1100:1
コントラスト比(ダイナミックコントラストモード)	4000:1
輝度むらANSI	85%
アスペクト比	16:10
レンズの種類	Gレンズ
レンズ範囲	1.28-1.60:1 (1.25X)
	1.00-1.28:1 (1.28X)
	1.61-3.07:1 (1.9X)
水平レンズシフト範囲	-28%~+28%
垂直レンズシフト範囲	-100%~+100%
色補正	CCN (1チップの場合)
ランプ	1 x 465W Ushio
ランプ寿命(ECO/ブライト)	2000/1500
輸送(ランプ付き)	はい
密封されたDLP™ コア	TIRプリズムとDMD間の密封
光学ダウザー	n/a
高度なピクチャーインピクチャー	はい
方向	テーブル - 天井
ゆがみ	n/a
統合されたWebサーバー	n/a
3D	はい、TI DLP-Link

(*) 測定、測定条件、表記法はすべてISO *21118*国際規格に準拠しています。

7. 仕様

仕様	PGWX-61B
台形ひずみ補正	はい
使いやすさ	簡易化OSDメニュー + リモコン
入力	G/Y, B/Pb, R/Pr, H/C, V; VGA; CVBS; HDMI-1 v1.3 ; DVI-D
入力解像度	最大WUXGA (1920x1200) 60Hz
ソフトウェアツール	投射ツールセット
コントロール	IR; RS232; RJ45
ネットワーク接続	10/100 Base-T, RJ-45接続
電源要件	100 - 240V / 50 - 60 Hz
消費電力	585W @ 110V; 540W @ 220V
ECOモードにおける消費電力	455W@100VAC,435W@240VAC
スタンバイモードにおける消費電力	<0.5W
ノイズレベルブライトモード(25°C/77°Fで標準)	標準:40 ± 2 dBA
ノイズレベルECOモード(25°C/77°Fで標準)	標準:35 ± 2 dBA
運転周辺温度	5-40°Cまたは41-104°F (海抜)
操作湿度	10-85%
寸法(幅x長さx高さ)	565 x 475 x 253mm
重量	17kg
輸送寸法	790 x 580 x 447mm
工場からの輸送重量	22kg
証明書	CBテスト証明書、US EMC、US安全、CE EMCと安全、CCC EMCと安全
保証	3年標準保証**

(**) 保証とサービス条件は、地域により異なることがあります。詳細については、最寄りの販売またはサービス代理店にお問い合わせください。

7.3 PGWU-61B

仕様	PGWU-61B
プロジェクターの種類	シングルチップDLPプロジェクター
技術	0.67" DMD
カラーホイール	6S規格(RGBYCW)
解像度	WUXGA 1920x1200
輝度*	5900 ANSIルーメン
輝度(Ecoモード)*	4250 ANSIルーメン
コントラスト比	1100:1
コントラスト比(ダイナミックコントラストモード)	4800:1
輝度むらANSI	85%
アスペクト比	16:10
レンズの種類	Gレンズ
レンズ範囲	1.22-1.53:1 (1.25X)
	0.95-1.22:1 (1.28X)
	1.52-2.92:1 (1.9X)
水平レンズシフト範囲	-28%~+28%
垂直レンズシフト範囲	-100%~+100%
色補正	CCN (1チップの場合)
ランプ	1 x 465W Ushio
ランプ寿命(ECO/ブライト)	2000/1500
輸送(ランプ付き)	はい
密封されたDLP™ コア	TIRプリズムとDMD間の密封
光学ダウザー	n/a
高度なピクチャーインピクチャー	はい
方向	テーブル - 天井
ゆがみ	n/a
統合されたWebサーバー	n/a
3D	n/a

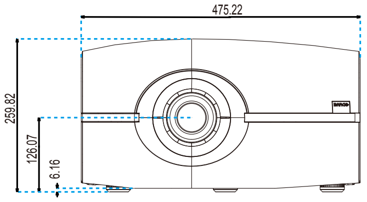
(*) 測定、測定条件、表記法はすべてISO *21118*国際規格に準拠しています。

仕様	PGWU-61B
台形ひずみ補正	はい
使いやすさ	簡易化OSDメニュー + リモコン
入力	G/Y, B/Pb, R/Pr, H/C, V; VGA; CVBS; HDMI-1 v1.3 ; DVI-D
入力解像度	最大WUXGA (1920x1200) 60Hz
ソフトウェアツール	投射ツールセット
コントロール	IR; RS232; RJ45
ネットワーク接続	10/100 Base-T, RJ-45接続
電源要件	100 - 240V / 50 - 60 Hz
消費電力	585W @ 110V; 540W @ 220V
ECOモードにおける消費電力	455W@100VAC,435W@240VAC
スタンバイモードにおける消費電力	<0.5W
ノイズレベルブライトモード (25°C/77°Fで標準)	標準：40 ± 2 dBA
ノイズレベルECOモード (25°C/77°Fで標準)	標準：35 ± 2 dBA
運転周辺温度	5-40°Cまたは41-104°F (海抜)
操作湿度	10-85%
寸法(幅x長さx高さ)	565 x 475 x 253mm
重量	17kg
輸送寸法	790 x 580 x 447mm
工場からの輸送重量	22kg
証明書	CBテスト証明書、US EMC、US安全、CE EMCと安全、CCC EMCと安全
保証	3年標準保証**

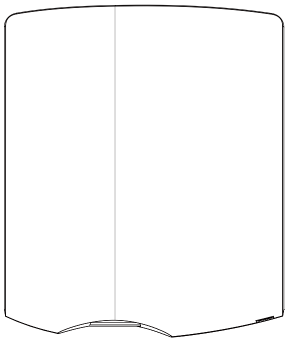
(**) 保証とサービス条件は、地域により異なることがあります。詳細については、最寄りの販売またはサービス代理店にお問い合わせください。

7.4 寸法

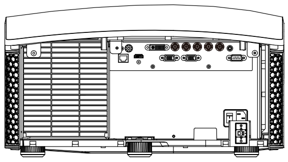
プロジェクトの外のり寸法



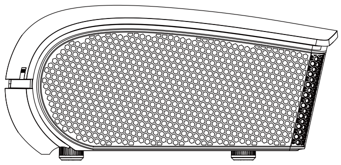
正面図



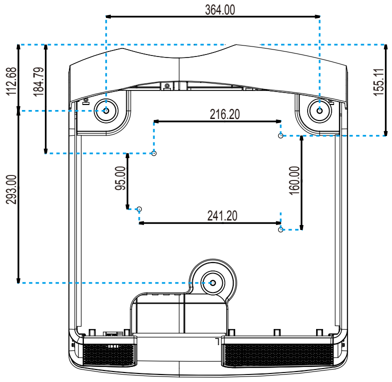
上面図



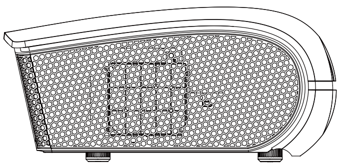
背面図



左側面図



下面図



右側面図

寸法(mm)

警告：

- 必ず、正しいねじサイズを使用してください。ネジのサイズは、取り付けプレートの厚みによって変化します。
- 天井とプロジェクター底面と間に、少なくとも10センチの距離を置いてください。
- プロジェクターは、熱を発生する装置の近くに配置しないでください。

7.5 互換モード

信号	解像度	周波数					
		水平周波数 H. (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ	注:
NTSC	--	15.734	60	○	--	--	
PAL/SECAM	--	15.625	50	○	--	--	
	640×350	31.5	70.1	--	○	○	70Hz
	640×400	37.9	85.1	--	○	○	85Hz
VGA	640×480	31.5	60	--	○	○	
	640×480		67	--	○	○	
	640×480	37.9	72.8	--	○	○	72Hz
	640×480	37.5	75	--	○	○	
	640×480	43.3	85	--	○	○	
SVGA	800×600	35.2	56.3	--	○	○	56Hz
	800×600	37.9	60.3	--	○	○	60Hz
	800×600	46.9	75	--	○	○	
	800×600	48.1	72.2	--	○	○	72Hz
	800×600	53.7	85.1	--	○	○	85Hz
XGA	1024×768	48.4	60	--	○	○	
	1024×768	56.5	70.1	--	○	○	70Hz
	1024×768	60	75	--	○	○	
	1024×768	68.7	85	--	○	○	
HD720	1280×720		50	--	○	○	
	1280×720		60	--	○	○	
WXGA	1280×768	47.776	60	--	○	○	
	1280×768		75	--	○	○	
	1280×768		85	--	○	○	
WXGA-800	1280×800		60	--	○	○	
	1280×960		60	--	○	○	
	1280×960		75	--	○	○	
	1280×960		85	--	○	○	
	1440×900		74.98	--	○	○	
SXGA	1280×1024	64	60	--	○	○	
	1280×1024	80	75	--	○	○	
	1280×1024	91.1	85	--	○	○	
SXGA+	1400×1050		60	--	○	--	
UXGA	1600×1200	75	60	--	○	○	
HD1080	1920×1080		24	--	○	○	
	1920×1080		50	--	○	○	
	1920×1080		60	--	○	○	
WUXGA	1920×1200		60	--	○	○	[RB]タイミングのみをサポート

信号	解像度	周波数					
		水平周波数 H. (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ	注:
HDTV	1920×1080	33.8	30	○	--	--	
	1920×1080	28.1	25	○	--	--	
	1920×1080i	28.125	50	--	○	○	
	1920×1080i	33.75	60	--	○	○	
	1920×1080p		24	--	○	○	
	1920×1080p		25	--	○	○	
	1920×1080p		30	--	○	○	
	1920×1080p		50	--	○	○	
	1920×1080p		60	--	○	○	
	1280×720	45	60	○	--	--	
	1280×720p		50	--	○	○	
	1280×720p		60	--	○	○	
SDTV	720×576	31.3	50	○	--	--	
	720×576i	15.625	50	--	○	○	
	720×576p		50	--	○	○	
	720×480	31.5	60	○	--	--	
	720×480i	15.734	60	--	○	○	
	720×480p	31.5	60	--	○	○	

3Dタイミング - 120 Hzフレームシーケンシャル

入力ソース解像度	フレームレート(Hz) (垂直周波数)	ライン速度(KHz) (水平周波数)	ピクセルクロック (MHz)
SVGA (800×600)	119.63	76.92	83.725
XGA (1024×768)	120.13	98.87	139.276
720p (1280×720)	120.31	92.88	161.997

8. 環境情報

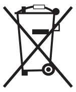
概要

- 廃棄情報
- RoHS準拠

8.1 廃棄情報

廃棄情報

廃電気 電子機器



電気・電子機器の廃棄を管理する欧州指令2002/96/ECに基づく製品のこの記号は、本製品を他の都市ごみと一緒に廃棄してはいけないことを示しています。不要な機器は、廃電気・電子機器のリサイクル用の指定された回収地点に引き渡すことによって廃棄してください。野放しの廃棄物投棄から環境や人間の健康にもたらされうる危害を防ぐために、これらの品目を他のタイプの廃棄物から分別し、持続可能な物質資源の再利用を奨励するために、責任を持ってリサイクルしてください。

本製品のリサイクルに関する詳細については、最寄りの市役所または都市ごみ処理業者にお問い合わせください。

詳細については、バルコWebサイトにアクセスしてください。
http://www.barco.com/en/AboutBarco/weee

製品の電池の廃棄

本製品には、都市ごみと分別して回収され廃棄される必要のある指令2006/66/ECの適用を受けている電池が含まれます。

電池に指定された値以上の鉛(Pb)、水銀(Hg)またはカドミウム(Cd)が含まれている場合、これらの化学記号が×を付した車輪付きごみ箱のシンボルの下に表示されます。

電池の分別回収に参加することで、適切な廃棄を確実に行い、環境と人間の健康への悪影響の可能性を防ぐことができます。

水銀通知

ランプには水銀が含まれています。
地域、州、連邦法に従って廃棄してください。

このバルコ製品は水銀を含む材料で構成され、地域、州、または国の法律に従ってリサイクルまたは廃棄される必要があります。

• このシステムのプロジェクターのランプには水銀が含まれています。

8.2 RoHS準拠

トルコRoHS準拠

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur.

[トルコ共和国：EEE規制に従って]

中国大陆RoHS (Information for China ROHS compliance)

根据中国大陆《电子信息产品污染控制管理办法》(也称为中国大陆RoHS)，以下部份列出了本产品中可能包含的有毒有害物质或元素的名称和含量。

Table of toxic and hazardous substances/elements and their content, as required by China's management methods for controlling pollution by electronic information products.

Hazardous Substances Or Elements / 有毒有害物质或元素

Component Name / 部件名称	Lead (Pb) / 铅 (Pb)	Mercury (Hg) / 汞 (Hg)	Cadmium (Cd) / 镉 (Cd)	Chromium VI Compounds (Cr VI) / 六价铬 (Cr VI)	Polybrominated Biphenyls (PBB) / 多溴联苯 (PBB)	Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE) / 多溴二苯醚 (PBDE)
Case/Enclosure / 机壳	O	O	O	O	O	O
Printed Circuit Assembly / 电子电路组件*	X	O	O	O	O	O
Chassis / 底座	O	O	O	O	O	O
Engine / 引擎	O	O	O	O	O	O
Hardware / 硬件	O	O	O	O	O	O
Optics / 光学器件	X	O	O	O	O	O
Lamp / 灯泡	O	X	O	O	O	O

* : Printed Circuit Assembly includes all Printed Circuit Boards (PCBs) and their respective population of discrete components, ICs, and connectors.
* : 电子电路组件包括所有包括所有印刷电路板(PCB)及其各自的离散组件、IC 及连接器。

○: Indicates the hazardous and toxic substance content of the part is lower than the threshold defined by the SJ/T11364-2006 standard.
○: 表明该部件所含有害和有毒物质含量低于 SJ/T11364-2006 标准定义的阈值。

×: Indicates the hazardous and toxic substance content of the part is over the threshold defined by the SJ/T11364-2006 standard. In all cases where an X is shown, Barco uses an allowable exemption per EU RoHS.
×: 表明该部件所含有害和有毒物质含量高于 SJ/T11364-2006 标准定义的阈值。对于所有显示为“X”的情况，Barco 按照 EU RoHS 采用了容许的豁免指标。

製造場所の住所

No.20, 3rd Ave, Kunshan Free Trade Zone,
Jiangsu, P.R. China